### 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第386集

# 要害館跡発掘調査報告書

ふるさと農道緊急整備事業要害地区関連発掘調査

(財) 岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター

# 要害館跡発掘調査報告書

ふるさと農道緊急整備事業要害地区関連発掘調査

豊かな自然に恵まれた岩手県には、縄文時代をはじめとする数多くの遺跡や重要な文化財が残されております。これら多くの先人たちの創造してきた文化遺跡を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方では、地域開発に伴う社会資本の充実も重要な施策であります。 発掘により遺跡が消滅する事はまことに惜しいことではありますが、 その反面それまで闇に包まれていた先人の営みに光明があたることも 事実であります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的課題であり、財岩手県文化振興事業団は埋蔵文化財センターの創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する処置をとって参りました。

本報告書は、ふるさと農道緊急整備事業(要害地区)に関連して平成12年度に発掘調査を実施した千厩町要害館跡の発掘調査結果をまとめたものであります。調査によって中世から近世中頃の掘立柱建物跡や土坑、縄文時代中期末葉の住居跡などの遺構や遺物が出土し、豊富な資料を提供してくれました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました千厩地方振興局農村整備事務所や千厩町教育委員会をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。

平成13年8月

財団法人 岩手県文化振興事業団 理事長 村 上 勝 治

#### 例 言

- 1. 本報告書は、岩手県東磐井郡千厩町清田字要害16ほかに所在する要害館跡の発掘調査結果をまとめたものである。
- 2. 本遺跡の発掘調査は、「ふるさと農道緊急整備事業要害地区」に伴い、岩手県教育委員会と千厩地方振興局千厩農村整備事務所との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが記録保存を目的として実施した緊急発掘調査である。
- 3. 本遺跡の成果は、平成12年度分の岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査第370集の「岩手県埋蔵文化財 発掘調査略報」に公表したが、本書を正式な報告とする。
- 4. 岩手県遺跡登録台帳における番号と調査時の遺跡略号は、以下の通りである。

遺跡番号 NF91-2216

遺跡略号 YD-00

5. 調査期間・調査面積・調査担当者は、以下の通りである。

調査期間 平成12年4月13日~平成12年7月14日

調査担当者 文化財専門調査員 小原 眞一 東海林 淳美

調査面積 5,071㎡

6. 室内整理期間と整理担当者は、以下の通りである。

整理期間 平成12年11月1日~平成13年1月31日

整理担当者 文化財専門調査員 小原 眞一 期限付専門職員 菊池 賢

- 7. 本報告書の編集・執筆は、小原 眞一・菊池 賢が分担・担当した。
- 8. 分析鑑定及び委託業務は次の方々に依頼した。(敬称略)

基準点測量 株式会社菊池技研コンサルタント

地形測量及び航空写真撮影 株式会社ハイマーテック

石質鑑定 花崗岩研究会

- 9. 国土地理院発行の地図を複製したものは、図中に図幅名と縮尺を記した。
- 10. 遺構の埋土観察には、農林水産省技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』を参考にした。
- 11. 本報告書で使用したスクリーントーンや記号等は第7図の凡例のとおりである。
- 12. 発掘調査においては、千厩町教育委員会をはじめ、次の方々にご協力、ご指導をいただいた。 菅原弘太郎、芳賀常雄、村上光一、畠山篤雄(千厩町) 鈴木千栄(宮古市)
- 13. 本遺跡から出土した遺物及び調査に係わる資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管してある。

### 本 文 目 次

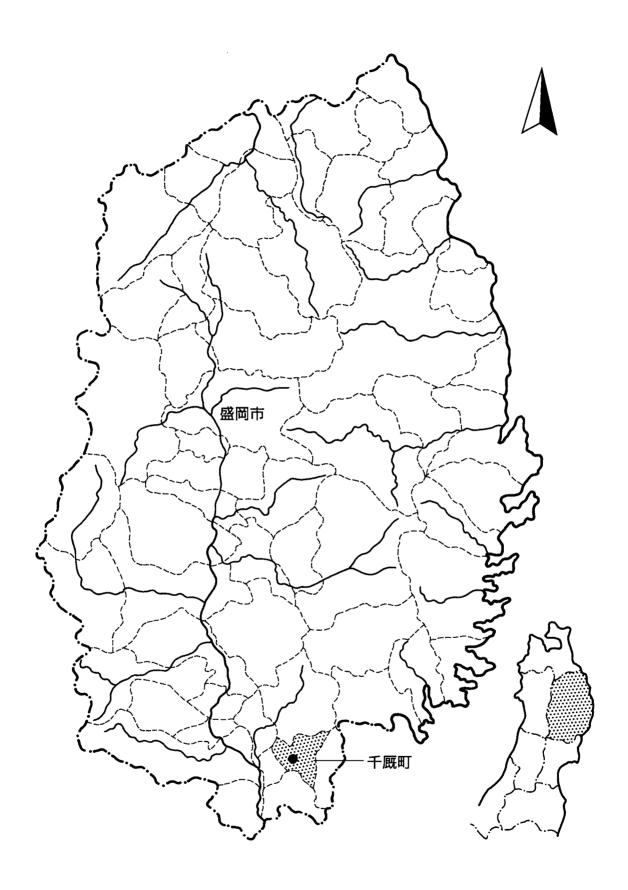
序	
例言	
目次(本文・図版・写真図版・表)	
報告書抄録	
I. 調査に至る経過	4
II. 遺跡の立地と環境	
1 地形と地質	4
2 周辺の遺跡	4
3 基本土層	7
III. 調査の方法と室内整理	
1 調査の方法	
(1) グリッドの設定と遺構名	10
(2) 粗掘と検出・遺構の精査と遺物の取り上げ	10
(3) 実測と写真撮影	10
2 室内整理	
(1) 遺構	11
(2) 遺物	11
Ⅳ 検出された遺構と遺物	
1 遺構	
(1) 建物	15
(2) 柱穴列	42
(3) 墓壙	42
(4) 土坑	42
(5) 配石	54
(6) 焼土	54
(7) 竪穴住居跡	54
(8) 柱穴状土坑	57
2 遺物	
(1) 陶磁器・古銭	57
(2) 土器・石器	57
V +LW	F 77

## 図版・写真図版・表目次

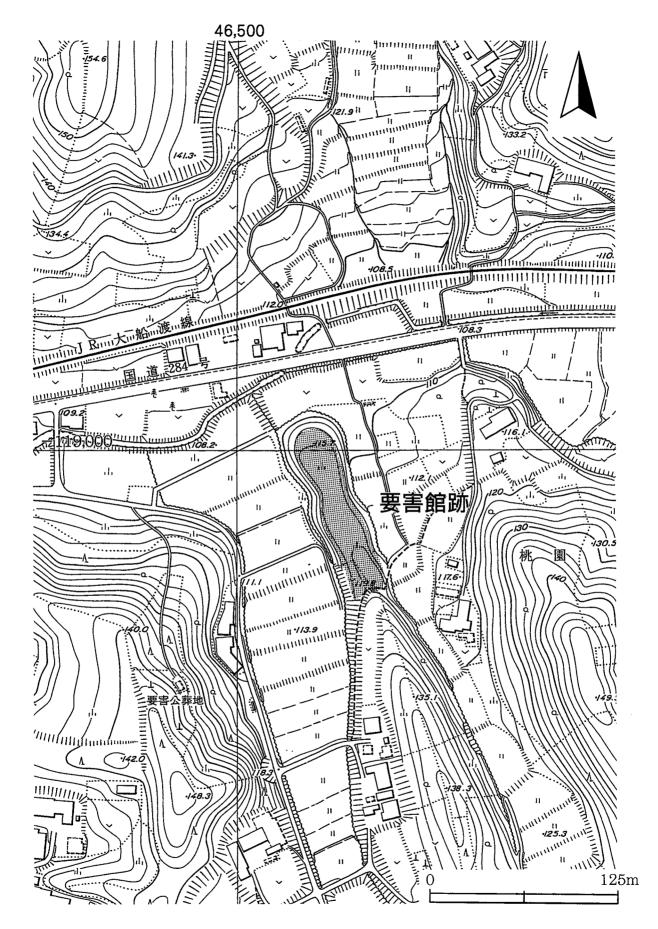
第1図	岩手県における遺跡の位置図	1	第36図 出土陶磁器・古銭 (	68
第2図	遺跡周辺地形図	2	第37図 出土土器 (	69
第3図	遺跡周辺地形分類図	3	第38図 出土石器	70
第4図	千厩町内の中世城館分布図	7		
第5図	グリッド配置及びトレンチ位置図 …	8	写真図版 1 空中写真	75
第6図	トレンチ土層断面図基本土層柱状図 …	9	写真図版 2 北側崖斜面トレンチ 7	76
第7図	実測図凡例	11	写真図版 3 柱痕跡・遺跡現況	
第8図	調査前地形図	12	・トレンチ	77
第9図	調査中後地形図	13	写真図版 4 建物 1	78
第10図	遺構配置図	14	写真図版 5 建物 2	79
第11図	1号・3号建物	16	写真図版 6 建物 3	80
第12図	2号建物	17	写真図版7 建物4	81
第13図	4号・5号建物	19	写真図版8 墓壙・土坑1	82
第14図	6号・7号・8号・9号建物	22	写真図版 9 土坑 2	83
第15図	10号・11号建物	24	写真図版10 土坑3	84
第16図	12号・13号建物	26	写真図版11 土坑4	85
第17図	14号・16号建物	27	写真図版12 土坑 5	86
第18図	15号建物	29	写真図版13 土坑6	87
第19図	17号・18号建物	31	写真図版14 配石・焼土	88
第20図	19号・20号建物	33	写真図版15 C11住居	89
第21図	21号・22号建物	35	写真図版16 出土遺物1	90
第22図	23号・24号・25号建物	36	写真図版17 出土遺物 2	91
第23図	柱穴列・墓壙	43		
第24図	土坑 1	45	表1 千厩町の中世城館一覧表	5
第25図	土坑 2	46	表 2 要害館跡検出遺構	15
第26図	土坑 3	48	表 3 建物每柱穴一覧	38
第27図	土坑 4	49	表 4 建物一覧表	41
第28図	土坑 5	51	表 5 柱穴状土坑一覧表	63
第29図	土坑 6	53	表 6 要害館跡出土遺物	71
第30図	配石・焼土	55		
第31図	竪穴住居跡	56		
第32図	A区柱穴状土坑	59		
第33図	B区柱穴状土坑	60		
第34図	C 区柱穴状土坑	61		
<del>१र</del> ्थ २ हाल्ल	D 区 比 公 化 上 位	69		

### 報告書抄録

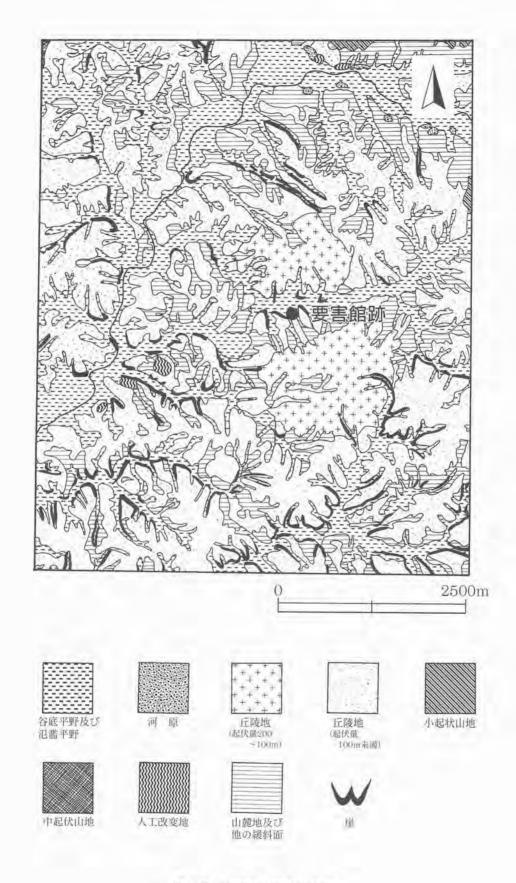
ふりがな	ようがい	ようがいだてあとはっくつちょうさほうこくしょ								
書 名	要害館跡	要害館跡発掘調査報告書								
副書名	ふるさと	るさと農道緊急整備要害地区事業関連遺跡発掘調査								
巻 次										
シリーズ名	岩手県文	化振興事業	団埋蔵文	化財調查	<b>全報告</b>	<b>事</b>				
シリーズ番号	第386集						- 111			
編著者名	小原眞一	•								
編集機関	財団法人	岩手県文	化振興事	業団埋薦	<b>该文化</b> 則	オセンター				
所 在 地	= 020-0	853 岩手」	県盛岡市下	飯岡11	<b>-185</b>	TEL019-	-638 - 9001			
発行年月日	西曆 20	01年9月28	3日 `			_				
ふりがな	ふりが	なコ	— ド	北緯	東経	超水期間	细水品结	<b>泗水</b>		
所収遺跡名	所 在	地 市町村	寸 遺跡番号	141、群	東経	調査期間	調査面積	調査原因		
まうがいたて あと 要害館跡	おき県東郷	磐井 03423	NE91	38度	141度	20000413~	5, 071m²	「ふるさと		
	くんせんまやちょうき 郡千厩町?	青田	-2216	  55分	22分	20000714		農道緊急整		
	************************************			  33秒	   33秒			備」に伴う		
	1 安昌104877							緊急発掘調		
!								Ħ.		
所収遺跡名	種別	主な時代	主	な遺	構	主な	遺物	特記事項		
要害館跡	複合遺跡	江戸時代	掘立柱建	<b>地</b> 物跡	25棟	陶磁器(中世	:末~近世)			
		縄文時代	(柱穴状	(柱穴状土坑540基)		永楽通宝				
			土坑	土坑		縄文土器(中期)・石鍬				
			焼土	  焼土 :		石匙				
			墓壙	墓壙						
			竪穴住居	品	 1棟					
			フラスニ		1基					
			配石	ールユーツロ	1基					
			HL11		1 25					
			•		<u>.</u>					



第1図 岩手県における遺跡位置図



第2図 遺跡周辺地形図



第3図 遺跡周辺地形分類図

### Ⅰ 調査に至る経過

要害館跡は「ふるさと農道緊急整備事業要害地区」の工事に伴って発掘調査を行うことになった。当事業の施行に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、岩手県千厩地方振興局千厩農村整備事務所から、平成11年11月15日付け千農整第683-2号「ふるさと農道緊急整備事業要害地区における埋蔵文化財の試掘調査について(依頼)」の文書で、岩手県教育委員会に試掘調査を依頼した。岩手県教育委員会は同年11月17日に試掘し、その調査の結果を同年11月29日付け教文第861号「ふるさと農道緊急整備事業要害地区に係る埋蔵文化財の試掘調査結果について(回答)」により回答し、要害館跡の範囲内であることが付記された。

#### II 遺跡の立地と環境

#### 1 地形と地質

千厩町は、東経141°18′~27″、北緯38°52′~59″で、岩手県の南端部、東磐井郡のほぼ中央部に位置し、北は大東町、西は、東山町、川崎村、南は藤沢町、東は室根村と隣接し、古くから内陸部(一関)と沿岸部(気仙沼)を結ぶ交通の要衝になっていた。

また、町内で最も高い地点は室根山頂上 (895.4m) で、そこから南へ鉢谷森(468.3m)、三枚山(320m)、大登山(351.3m)、観音山、砥石山、黄金山(482.4m)、保呂羽山(433.8m)と続き、北側には、立石山(345.4m)、西側の大峰山(361.1m)、三島山(346.3m)と続く山地に囲まれた "お盆" の底のような低平な丘陵地(盆地) の内部に位置している。町内を流れる川は、千厩川、黄海川の2つで、いずれも西流し、川崎村薄衣、藤沢町黄海で、北上川に合流している。千厩川は、盆地を形成している山地を横切る川崎村との境付近で、峡谷を形成する。同様な例は、北側に位置する砂鉄川が形成する "猊鼻渓" である。千厩町付近が、盆地状の地形を呈するのは、この地域の基盤を構成する中生代白亜紀に形成された千厩花崗岩が風化浸食されやすいからで、そのために、地表面は、この花崗岩及び花崗岩質の岩石が風化浸食されてできた "マサ土"と呼ばれる石英や長石を含む砂質土に覆われている。

#### 2 周辺の遺跡

千厩町で最も古い集落は、奥玉地区の沢前遺跡で、縄文時代早期中頃(約8000年前)といわれている。土器の尖底部と貝殻沈線文の破片が出土している。沢前遺跡は、縄文時代早期、中期の土器や石器、平安時代の土師器、須恵器と出土している。早期のその他の遺跡としては、小梨地区の中長者 I 遺跡がある。尖底部や押型文、表裏縄文表裏条痕文、異条斜縄文が出土し、住居の柱穴と見られる柱穴状土坑が検出されている。前期の遺跡としては、奥玉地区の宿下遺跡、金取沢 I 遺跡がある。後者からは前期後葉の台付深鉢が出土している。中期の遺跡としては、小梨地区の清田台遺跡、磐清水地区の牧ノ巣館遺跡があり。牧ノ巣館遺跡からは、竪穴住居17棟、フラスコ形土坑等の遺構が検出されている。特に、10号住居は埋設土器を伴う複式炉をもっていた。また、長さが12mにも及ぶ長方形の住居も検出されている。後・晩期の遺跡としては、小梨地区の南小梨蛇王遺跡がある。竪穴住居、土坑、焼土遺構が検出され、それに伴い、多くの土製品、石製品が出土している。特に、石棒の出土が多い。

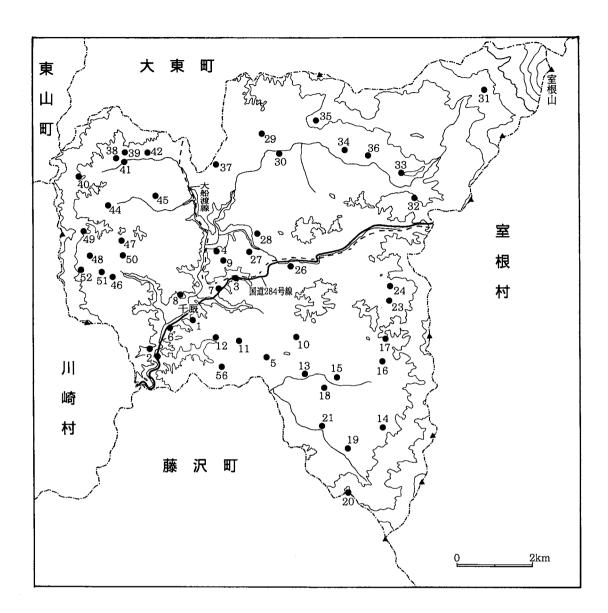
弥生時代の遺構は検出されておらず、土器は、小梨地区の畑ノ沢遺跡、磐清水地区の関上遺跡から出土している。古代の遺構については、町内では現在のところ確認されていない。

中世以降の城館は、町内で52カ城確認されている(第4図、表1)。発掘調査されている城館としては、 千厩城、南小梨城、折戸館、清水馬場城、牧ノ巣館がある。千厩城からは、掘立柱建物跡・溝跡、南小梨城 からは、空堀・掘立柱柱穴、折戸舘からは、L字状溝跡1条、掘切状大溝1条、掘立柱建物跡、清水馬場城 からは、空堀・整地層、牧の巣館からは、2400基余りの掘立柱柱穴群・堀跡がそれぞれ検出されている。

表1 千厩町中世城館一覧表

No.	名 称	別 称	遺構など	城主・文献・その他
1	千厩城	茶臼館	郭・帯状の小平場・掘立柱跡・溝状遺構	金野右馬丞・「仙台領古城書上」
			: 	千厩町史資料第1集
				昭和61年試掘調査
2	小田館		詳細不明	史料仙台領古城、館第1巻
				千厩町史資料第1集
3	折戸館		平場・帯状郭・掘立柱建物跡・小溝・堀	小野寺与四郎道易・白石十郎左衛門
	ļ		切	
				千厩町史資料第1集
				昭和55年発掘調査
4	中沢館	舘山館	土塁・平場・空堀	史料仙台領古城、館第1巻
				千厩町史資料第1集
				黒木将監?・白石十郎左衛門
5	木六館	黄鹿館	平場・帯状平場	村上氏
6	古ヶ口館		带状平場	
7	上館		詳細不明	
8	上館	館	平場・詳細不明	白石氏・近世金山奉行所跡
9	赤間館		平場・井戸跡 近世の在郷屋敷?	白石氏・元禄11年東山絵図
10	赤間館		明瞭な遺構なし	·
11	鶴館		不明瞭	地元伝承
12	小館		不明瞭	地元伝承
13	小梨城	平館・本丸	平場・土壇・堀切・土塁状の遺構	仙台領古城書上
ŀ	!	二ノ丸		北小梨村風土記御用書出
		館山		小梨甚五左衛門・小梨左馬丞
14	松倉要害館	館・要害	空堀・平場	小梨氏・小梨甚五左衛門
15	上館		平場・土塁・堀切	西城氏・中世、近世の居館
16	新堀館		小平場	物見的機能か?
17	大登館		小平場	菅原伊賀守朝利
18			詳細不明	
19	南小梨城	中館	空堀・平場・土壇	篠崎三河・仙台城古城書上
		篠木館		元禄11年東山絵図
		西館		岩手県史第2巻
				平成6、7、8年度発掘調査
20	天神山館		平場・堀切	
21	浦ノ沢要害	要害	遺構不明瞭	千厩町史資料第1集
	和野館			岩手県史第2巻
23	清水馬場城		三重の空堀・掘立柱建物跡	千葉相模・仙台領古城書上
				昭和58年発掘調査
24	小館		帯状の小平場	千厩町史資料第1集
				清水馬場城の隠居館とも伝わる
25	沙部館		詳細不明	
26	要害館	館	平場・掘立柱建物跡	地元伝承
				平成12年発掘調査(本報告遺跡)

No.	名 称	別称	遺構など	城主・文献・その他
27	小天平館		平場・土壇	
	金田館	樋ノ口館	平場・土壇・堀切・空堀	千葉左近
		樋口館		仙台領古城書上
				金田村風土記御用書出
29	立花城	六一花城	郭	佐藤但馬守師久
		橘城		千葉大膳太夫
		二日市城		仙台領古城書上・奥玉村誌
30	船丸館	八花館	平場・空堀	奥玉村誌・奥玉村史天然記念物台帳
				千厩町史資料第1集
31	要道館	淀館		千厩町史資料第1集・奥玉村誌
32	殿金沢館			千厩町史資料第1集・奥玉村誌
33	此ノ手館			千厩町史資料第1集
				史料仙台領内古城、館
34	牛生蓮館	<b></b>	空堀	
				上奥玉村風土記御用書出・奥玉村誌
35	新館		平場	千葉隼人胤仲・奥玉村誌
36	長者館	新城	平場	奥玉村誌
37	尼寺沢館	平場・堀切	地元伝承	
38	仏沢城	兵庫館	堀切・空堀・平場・井戸跡	亀掛川兵庫
		愛宕館		仙台領古城書上・磐清水村誌
				千厩町史資料第1集
39	隠館		平場・帯状郭・小規模堀切	磐清水村誌
40	白萩館		詳細不明	磐清水村誌
41	古舘		仏沢城の南東に位置	磐清水村誌
42	松川館	沙館	詳細不明・帯状平場	史料仙台領内古城、館
43	駒館		詳細不明	磐清水村誌
44	寺沢城	中館	郭・空堀・帯状の平場	磐清水村誌
				笹木新右衛門・仙台領古城書上
45	新館		平場・堀状遺構	千葉氏・磐清水村誌
46	濁沼城	規矩馬城	平場・帯郭状平場	亀掛川兵部・亀掛川下総
		規矩馬ケ城		磐清水村誌・仙台領古城書上
47	胡桃館		詳細不明	史料仙台領内古城、館・磐清水村誌
48	牧ノ巣館		空堀・平場・掘立柱建物群	史料仙台領内古城、館・岩手の遺跡
	<u> </u>			昭和56年発掘調査
49	野黒館	_	浅い堀切・詳細不明	磐清水村誌
50	ウサギ館		平場・帯郭状平場	磐清水村誌
51	猫館		詳細不明・濁沼城の北に位置	磐清水村誌・明治3年風土記
52	大山屋敷跡	大山館	居館跡と見られる	大山三左衛門
				風土記御用書出・磐清水村誌
53	花館		詳細不明	磐清水村誌
54	遠見館		詳細不明	磐清水村誌
55	沙部館		詳細不明	史料仙台領内古城、館・磐清水村誌
56	清水森館		詳細不明	風土記御用書出
				史料仙台領内古城、館
57	舘山館		詳細不明	風土記御用書出



第4図 千厩町内の中世城館分布図

#### 3 基本土層(第6図)

北側崖斜面及び平坦部東西トレンチの土層断面(基本土層)

I 層 10YR3/3~3/4 暗褐色土 表土 層厚0~5 cm

II層 10YR4/2 灰黄褐色砂質土 にぶい黄橙色や褐灰色の花崗岩が風化した細砂を含む

平場全体に分布する (平場を造成時の整地層)

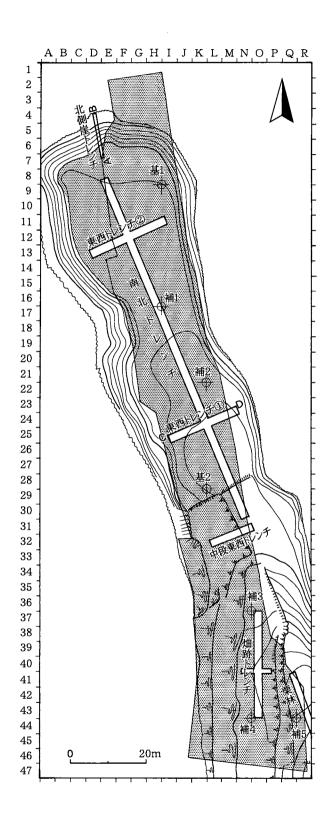
層厚30~104cm 耕作土にもなっている。

III 1 層 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土 僅かに黒褐色土を含む平場造成前の表土

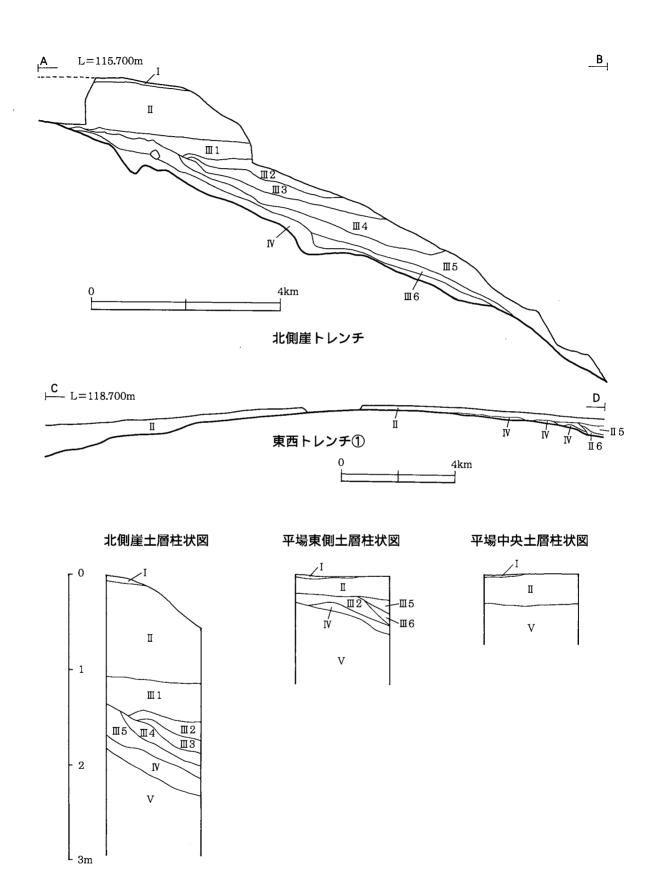
層厚 0 ~52cm

III 2 層 10 Y R 4 / 2 灰黄褐色土 黒褐色土を僅かに含む 層厚 0 ~29 cm

III 3 層 10 Y R 3 / 1 黒褐色土 灰黄褐色土を含む 層厚 0 ~53cm



第5図 グリッド配置及びトレンチ位置図



第6図 トレンチ土層断面図・基本土層柱状図

III 4 層 10 Y R 2 / 2 黒褐色土 微細な炭化物、砂を含む 層厚 0 ~56cm

III 5 層 10 Y R 3 / 4 暗褐色砂質土 黒褐色土、褐色砂質土が混在する 層厚 0 ~ 25 cm

N 1 層 10 Y R 4 / 4 褐色砂質土 黄褐色砂質土と黒褐色土が混在する 層厚 0 ~10cm

N2層 10YR6/8 明黄褐色土 粘性のあるシルト 層厚0~40cm

V層 10YR5/4∼5/1 にぶい黄褐色~褐灰色の花崗岩 層厚不明 千厩花崗岩

※III、N層が分布するのは、崖に近い地点で平場中央では欠如している。

### III 調査の方法と室内整理

#### 1 調査の方法

#### (1) グリッドの設定と遺構名

グリッドは平面直角座標系(第X系)に合わせて設定した。調査区の北西に起点〇(X=-118,960、Y=46,532)を設け、〇から南東方向に $4\times4$ mのメッシュで調査区全体を区割した。この区画には、起点〇から東に $A\cdot B\cdot C$ …のアルファベット、南に $1\cdot 2\cdot 3$  …の番号を付して、 $A1\cdot A2$  と呼称した。調査区内のグリッドに沿った地点に基1(X=-118,992、Y=46,564)、基2(X=-119,072、Y=46,576)と補1~補5を設置して、区割り及び実測の基準点とした。(第5図)

遺構名は、検出されたグリッド名を付し、同一グリッド内に同様な遺構が複数ある場合は①、②をつけて、A1住居、B2①土坑等と呼称した。遺構が複数のグリッドにかかる場合は、北西側のグリッド名を取ったが厳密なものではない。また、掘立柱建物については、重複が多く、現地でそれぞれの建物を確認することができなかったので、室内に戻ってから北西寄りの建物から1号建物、2号建物…のように遺構名を付けた。

#### (2) 粗掘と検出・遺構の精査と遺物の取り上げ

遺構検出面までの深さおよび層序の確認のため、調査区全体に幅約2mのトレンチを設定した。その結果、 表土(層厚約30cm)は耕作時の攪乱を受けているので、表土下の地山面を遺構検出面とし、表土のみ重機 (パワーショベル)を使用して除去を行なった。

検出された遺構は大型の土坑は4分法、その他の土坑は2分法を原則として精査を行なったが、柱穴状土坑については、埋土を検出面から5㎝掘り下げ、柱痕跡を確認、平面図を作成した後に掘りあげた。必要に応じてその他の方法も併用した。精査の各段階において図面の作成や写真撮影を適宜行なった。

出土遺物は、グリッド毎に出土した層位を記して取り上げた。必要に応じて写真撮影、図面作成の後に取り上げた。

#### (3) 実測と写真撮影

調査前に、ラジコンヘリコプターによる現地形の写真撮影と地形測量を行った。

遺構の平面実測にあたっては、トータル・ステーションを用い基準点を設定する、簡易的な遣り方測量を行った。実測図は平面図・断面図とも1/20縮尺での作成を原則としたが、住居内の炉の断面や焼土遺構・配石遺構は1/10の縮尺で図面を製作した。

写真撮影は $6\times7$  cm判カメラ(モノクロ)をメインとし、これに35 mm判カメラ 2 台(モノクロ・カラーリバーサル)を補助カメラ、ポラロイドカメラ 1 台をメモ的な用途として使用した。また、調査終了前にラジコンへリコプターによる空中写真( $6\times7$  cm判モノクロ・カラー)の撮影を行った。

#### 2 室内整理

室内での作業は、野外調査で作成した遺構図面の点検と補正およびトレース、遺物の接合・復原・仕分けなどを行ない、次に実測・計量・拓本・写真撮影・トレースを並行して進め、図版を作成した。個々の整理方法および縮尺は次のとおりである。

#### (1) 遺構

遺構配置図は発掘調査時に作成した図面を基に 1/200の縮尺図を作成し、仕上がり 1/600で掲載した。各 遺構図面は以下の縮尺を原則としたが、一部に変更もあり、図面にはそれぞれスケールを付した。 掘立柱建物跡の平・断面図… 1/100、竪穴住居跡の平・断面図… 1/40、炉の断面図… 1/20、土坑の平・断面図… 1/50、焼土遺構・配石遺構の平・断面図… 1/20。なお、平面図における北印は座標北を示す。

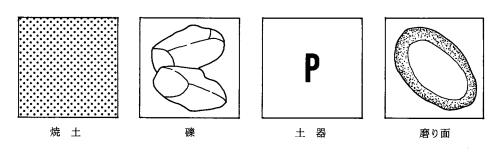
#### (2) 遺物

土器の実測は原則として、反転実測が可能なもの(口縁部・底部が1/4以上残存するもの)に限ったが、器面に凹凸が著しく、拓本では表現出来ないものや、大型の破片については平面実測して掲載した。また、地紋のみが施されているものや、文様が単純なものは、中軸線の左側1/2のみを図化した。掲載遺物の縮尺率は次のとおりであるが、遺物によってはこの限りではない。陶磁器の実測図…1/2、古銭の拓本…1/2、土器の実測図・拓本…1/3、剥片石器…1/2、礫石器…1/3。

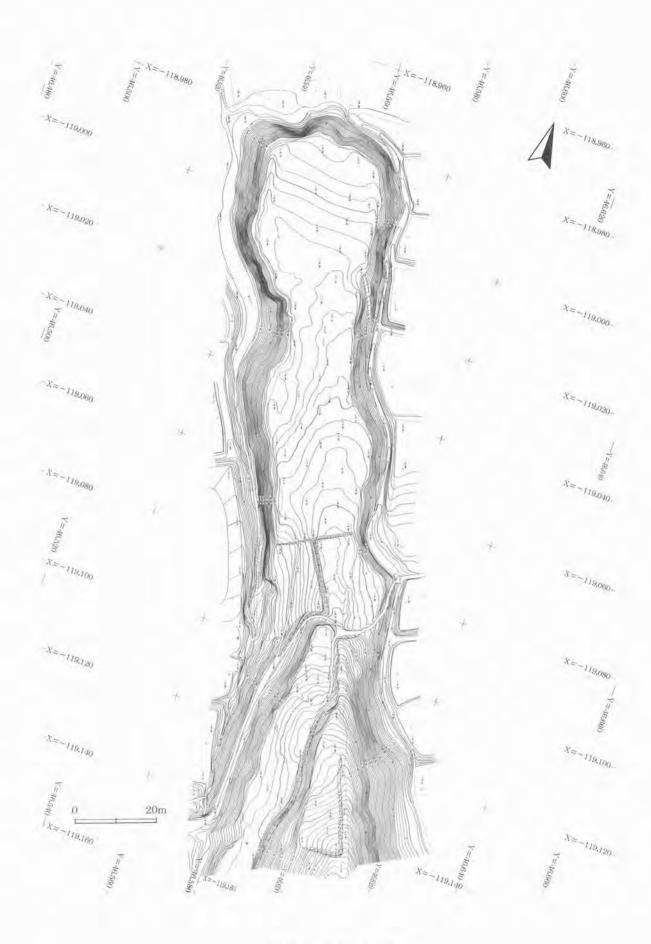
遺物写真の縮尺については、ほぼ実測図に準じているが、古銭については 1/1 である。また、実測図中の遺構・遺物の表現や、使用した記号・スクリーントーンについては、凡例を第7図に示した。

#### 〈参考・引用文献〉

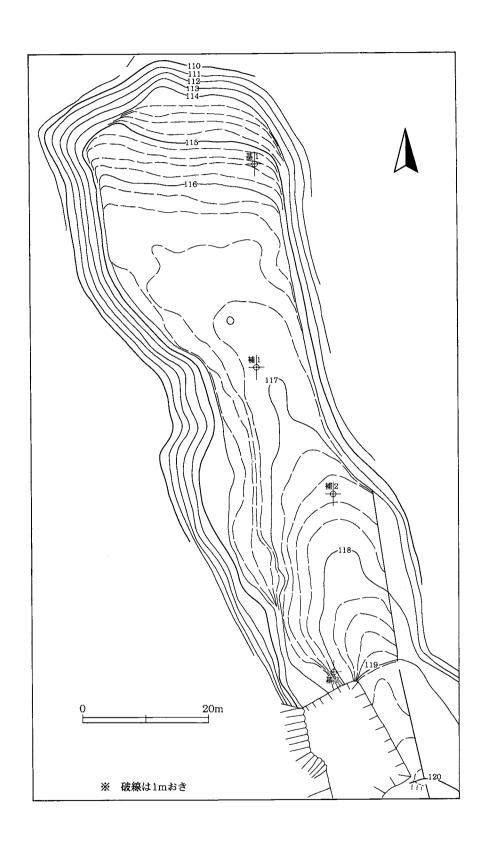
- (1) 北上山系開発地域(1975);土地分類基本調查「千厩」. 岩手県企画開発室(北上山系開発).
- (2) 千厩町(1999);「自然編・歴史編・特別編」、『千厩町史第5巻』、



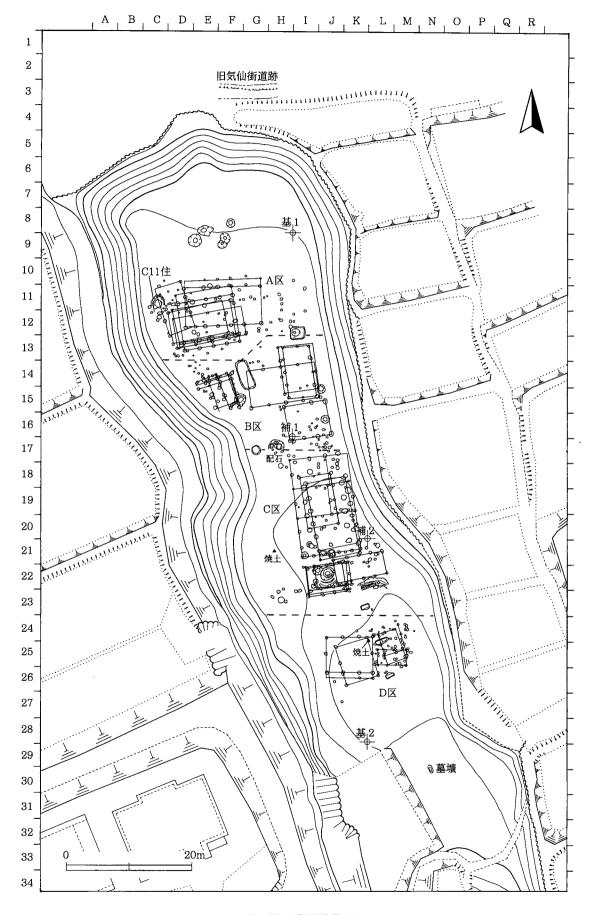
第7図 実測図凡例



第8図 調査前地形図



第9図 調査後地形図



第10図 遺構配置図

#### Ⅳ 検出された遺構と遺物

本遺跡から検出された遺構は、中世から近世にかけての建物25棟、柱穴列2基、墓壙1基、土坑23基(縄文時代を含む)、配石1基、時期不明焼土2基、竪穴住居跡1棟である。遺物は、中世末から近世にかけての陶磁器片数十点、古銭1枚、縄文土器小コンテナ1箱、石器数点である。

#### 1 遺構

表 2 要害館跡検出遺構一覧表

番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名	番号	遺構名
1	1号建物跡	12	12号建物跡	23	23号建物跡	34	C11土坑	45	I 22①土坑
2	2号建物跡	13	13号建物跡	24	24号建物跡	35	H12土坑	46	I 22②土坑
3	3号建物跡	14	14号建物跡	25	25号建物跡	36	F14土坑	47	I 22③土坑
4	4号建物跡	15	15号建物跡	26	M24柱穴列	37	J 14土坑	48	J 22土坑
5	5号建物跡	16	16号建物跡	27	L 25柱穴列	38	F15土坑	49	K23土坑
6	6号建物跡	17	17号建物跡	28	N29墓壙	39	J 16土坑	50	L 24土坑
7	7号建物跡	18	18号建物跡	29	E 8 土坑	40	G17土坑	51	L 26土坑
8	8号建物跡	19	19号建物跡	30	F8土坑	41	I 21①土坑	52	H17配石
9	9号建物跡	20	20号建物跡	31	D 9 土坑	42	I 21②土坑	53	H21焼土
10	10号建物跡	21	21号建物跡	32	F 9 ①土坑	43	J 21①土坑	54	L 25焼土
11	11号建物跡	22	22号建物跡	33	F 9 ①土坑	44	J 21②土坑	55	C11住居

#### (1) 建物

建物跡は平場全体から、25棟検出した。平面図の縮尺は1/100である。平面図に付してある寸法は、括弧内の数字の単位が尺、括弧のない数字の単位がcmである。一尺は30.3cmとして計算した。また、それぞれの柱穴の規模は表に表した。

#### 1号建物 (第11図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのC11、12、D10~13、E12区に位置する。

〈重複関係〉 2、3、4、5号建物と重複する。それらの建物との新旧関係は不明であるが、本建物とそれらの桁行の軸方向が大きく異なるので、若干時期の異なる建物と考えられる。

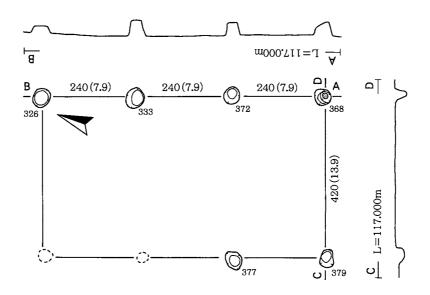
〈平面形式〉桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみで下屋柱や間仕切り的な柱は見られない。桁行744cm、梁間420cmで、面積は約9.5坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-20°-Wである。

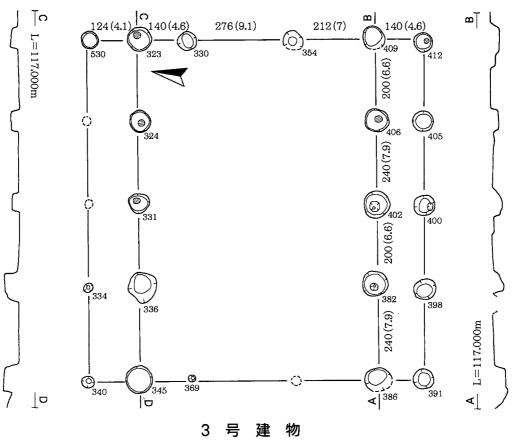
〈柱穴〉柱穴は6基検出されている。検出面での平面形で最大なものは60×56cm(P377)、最小は46×38cm (P379)、最深は40cm(P333)、最浅18cm(P326)である。P368には径が16cmの柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行7尺9寸(約240cm)、梁行は13尺9寸(約420cm)ある。

〈出土遺物〉なし



号 1 建 物

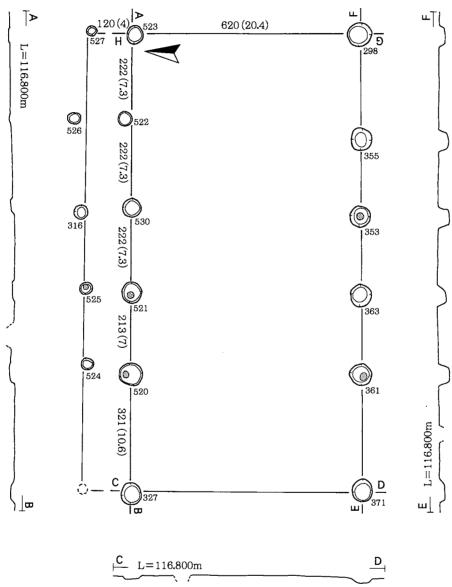


建



1号・3号建物 第11図







#### 2 号 建 物



第12図 2号建物

〈建物の性格〉不明である。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 2号建物 (第12図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのD10~12、E10~12、F10~12、G10~12区にまたがり位置する。

〈重複関係〉 1 、 3 、 4 、 5 号建物と重複する。それらの建物との新旧関係は不明であるが、 3 、 4 、 5 号建物とは桁行の軸方向に大きな違いが見られないので、それらの建物に前後する建物と考えられる。

〈平面形式〉桁行5間、梁行1間半の直屋である。上屋柱と、北側の下屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。桁行1200cm、梁間740cmで、面積は約26.9坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-88°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は12基検出されている。検出面での平面形で最大なものは62×58cm (P298)、最小は36×36cm (P522)、最深は31cm (P353)、最浅4cm (P520、530)である。P361、P353、P520、P521には、それぞれ径が21 cm、20cm、18cm、18cmの柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行はほぼ7尺3寸(約222cm)を基準としているが、7尺(約213cm)、10尺6寸(約321cm)もある。梁行は24尺2寸(約732cm)、上屋柱と下屋柱の間隔は4尺(約120cm)である。

〈出土遺物〉なし

(建物の性格) 規模や形状から母屋であると考えられる。

(時代) 周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 3号建物 (第11図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのD11~13、E11~13、F11~13区にまたがり位置する。

〈重複関係〉 1 、 2 、 4 、 5 号建物と重複する。 4 、 5 号建物と桁行の軸方向がほぼ一致するので、同じ地点で 3 時期にわたる建て替えがあったと考えられ、本建物がその中で最も新しい建物である。

〈平面形式〉桁行4間、梁行5間の直屋である。上屋柱、下屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。桁行880cm、梁間892cmで、面積は約23.8坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-80°-Eである。

(柱穴) 柱穴は20基検出されている。検出面での平面形で最大なものは80×74cm (P336)、最小は27×23cm (P334)、最深は46cm (P345、409)、最浅5cm (P334)である。P323、P324、P331、P406、P412には、それぞれ径が19cm、18cm、16cm、18cm、14cmの柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行は6尺6寸(約200cm)、7尺9寸(約240cm)をである。梁行は4尺1尺(約124cm)、4尺6寸(約140cm)、7尺(約212cm)、9尺1寸(約276cm)と一定しない。

〈出土遺物〉なし

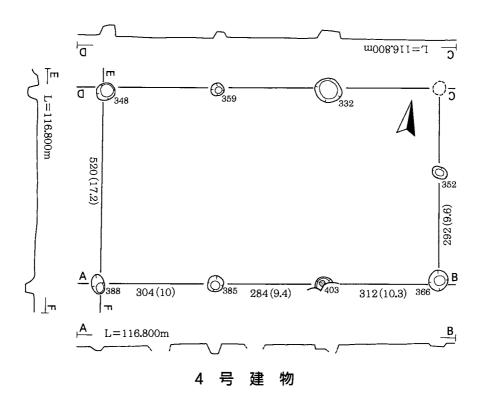
〈建物の性格〉規模や形状から母屋であると考えられる。

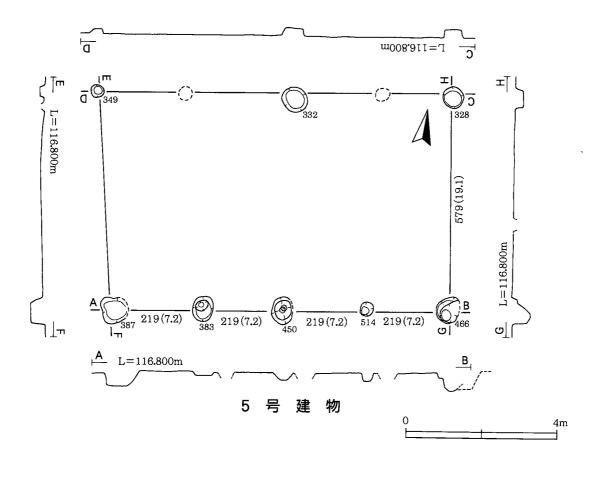
〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 4号建物 (第13図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのD11~13、E11~13、F11~13区にまたがり位置する。

〈重複関係〉1、2、3、5号建物と重複する。桁行の軸方向がほぼ一致する3、5号建物より古い。





第13図 4・5号建物 —19—

〈平面形式〉桁行 3 間、梁行 2 間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。桁行896 cm、梁間520 cm cm 、面積は約14.1  $\mu$ である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-79°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは70×62cm (P332)、最小は34×33cm (P359)、最深は31cm (P348)、最浅12cm (P366、P403)である。P403には径が15cmの柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行は10尺3寸(約312cm)、10尺(約304cm)、9尺4寸(284cm)と一定ではない。梁行は17尺2寸(約520cm)あり、東側は、2間あり南側の1間の間尺は9尺6寸(292cm)である。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から母屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半〜近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 5号建物 (第13図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのD11~13、E11~13、F11~13区にまたがり位置する。

〈重複関係〉 1 、 2 、 3 、 4 号建物と重複する。桁行の軸方向がほぼ一致する 3 号建物より古く、 4 号建物より新しい。

〈平面形式〉桁行 4 間、梁行 1 間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。桁行876 cm、梁間579 cm で、面積は約15.4 坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-79°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは $70\times70$ cm (P387)、 $70\times62$ cm (P332)、 $70\times54$ cm (P450)、最小は $36\times33$ cm (P514〉、最深は49cm (P466)、最浅12cm (P349)である。P450には径が16cm の柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行はほぼ7尺2寸(219cm)を基準としている。梁行は19尺1寸(579cm)ある。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から母屋と考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 6号建物 (第14図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのE14、F14、15区にまたがり位置し、西側は崖になっているため、一部のみの検出である。

〈重複関係〉 7、8、9、10号建物と重複する。僅かに軸方向が異なり、ほぼ同一地点で7号建物と重複する。この地点で重複する5棟の建物の中では最も新しい。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間以上、梁行2間以上の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-24°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は6基検出されている。検出面での平面形で最大なものは54×41cm(P425)、最小は34×28cm (P435)、最深は53cm(P424)、最浅14cm(P537)である。P435には、径が19cmの柱痕跡が検出された。

〈柱間寸法〉桁行はほぼ 5 尺 9 寸 (180cm)を基準としているが、 7 尺 2 寸 (219cm) もある。梁行は一定ではなく 5 尺 9 寸 (180cm) と 4 尺 7 寸 (141cm) がある。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 7号建物 (第14図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのE14、F14、15区にまたがり位置し、西側は崖になっているため、一部のみの検出である。

〈重複関係〉6、8、9、10号建物と重複する。僅かに軸方向が異なる6号建物とほぼ同一地点で重複する。 6号建物より古く、8、9、10号建物より新しい。

〈平面形式〉検出部分では、桁行2間以上、粱行2間以上の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-25°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は5基検出されている。検出面での平面形で最大なものは55×40cm(P493)、最小は36×32cm (P440)、最深は47cm (P440)、最浅20cm (P496)である。

〈柱間寸法〉桁行、梁行いずれも一定せず、桁行は6尺6寸(201cm)と7尺2寸(219cm)、梁行は4尺4寸(132cm)、5尺2寸(159cm)がある。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 8号建物 (第14図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのE14、F14、15、G15区にまたがり位置し、西側は崖になっているため、一部のみの検出である。

〈重複関係〉 6、7、9、10号建物、F15土坑と重複する。僅かに軸方向が異なる9号建物とほぼ同一地点で重複する。6、7号建物、F15土坑より古く、9号建物より新しい。10号建物との新旧関係は不明である。〈平面形式〉検出部分では、桁行3間以上、梁行2間以上の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-20°-Wである。

〈柱穴〉 柱穴は6 基検出されている。検出面での平面形で最大なものは58×46cm (P416)、最小は36×30cm (P419)、 最深は78cm (P416)、最浅34cm (P419)である。P416、P438には、それぞれ径が20cm、22cmの柱痕跡がある。

(柱間寸法) 桁行は一定せず、4尺7寸(141cm)、5尺1寸(156cm)、6尺1寸(180cm)、梁行は6尺9寸(210cm)を基準としている。

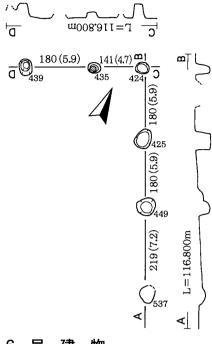
〈出土遺物〉なし

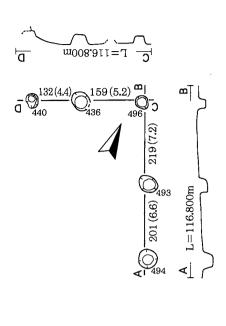
〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 9号建物 (第14図、写真図版4)

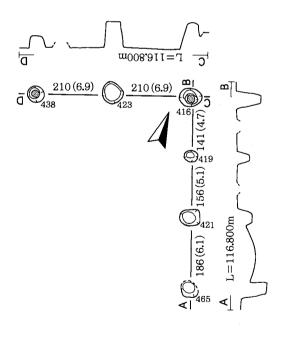
〈位置〉調査区北西寄りのE14、F14、15区にまたがり位置し、西側は崖になっているため、一部のみの検

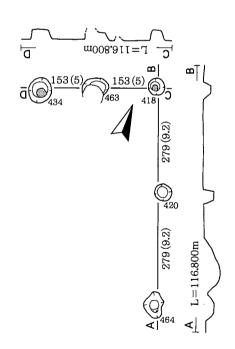




뮥 建 6 物

7 号 建物





建

物

9

号

8 号 建 物



第14図 6号・7号・8号・9号建物

出である。

〈重複関係〉 6 、 7 、 8 、 10 号建物、 F 15 土坑と重複する。僅かに軸方向が異なる 8 号建物とほぼ同一地点で重複する。 6 、 7 、 8 号建物、 F 15 土坑より古く、 10 号建物との新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行2間以上、梁行2間以上の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-22°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は5基検出されている。検出面での平面形で最大なものは70×48cm (P464)、最小は44×42cm (P420)、最深は30cm (P418)、最浅19cm (P463)である。P418、P434には、それぞれ径が14cm、25cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は9尺2寸(279cm)を基準とし、梁行は5尺(153cm)を基準としている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 10号建物 (第15図、写真図版4)

〈位置〉調査区北西寄りのE14、15、F14、15区にまたがり位置し、西側は崖になっているため、一部のみの検出である。

〈重複関係〉 6、7、8、9 号建物、F15土坑と重複する。重複する他の 4 棟が北北西—南南東に桁行の軸方向をもつのに対して、本遺構は西南西—東北東と異なる軸方向をもつ。 6、7 号建物、F15土坑よりは古いが、8、9 号建物との新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間以上、梁行2間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-73°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は7基検出されている。検出面での平面形で最大なものは63×52cm (P529)、最小は42×38cm (P417)、最深は58cm (P417)、最浅29cm (P420、P529)である。P418には、径が18cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は5尺9寸(180cm)を基準とし、梁行は6尺(183cm)を基準としている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 11号建物 (第15図、写真図版5)

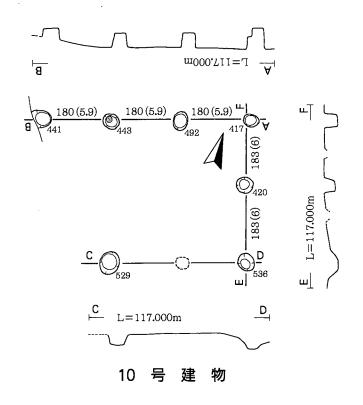
〈位置〉調査区北寄りのG14、15、H14、15、I14、15、J14、15区にまたがり位置する。

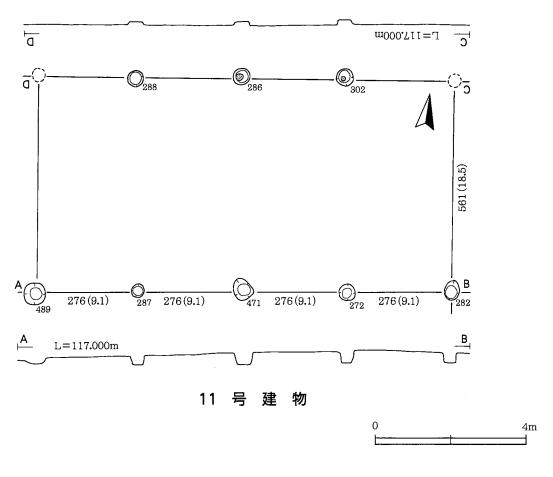
〈重複関係〉12、13号建物、J14、F14土坑と重複する。本遺構は桁行が西南西─東北東の軸方向をもつが、12、13号建物は、桁行がほぼ北─南の軸線をもち直行する。それぞれの建物との新旧関係は不明である。F14土坑よりは古い。

〈平面形式〉検出部分では、桁行4間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。 桁行1104cm、梁間561cmで、面積は約18.8坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-82°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは60×48cm(P471)、最小は36×33cm(P287)、





第15図 10号・11号建物 ---24---

最深は34cm (P272)、最浅8cm (P288) である。P286、P302には、それぞれ径が20cm、12cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は9尺1寸(276cm)を基準とし、梁行は18尺5寸(561cm)である。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から母屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 12号建物(第16図、写真図版5)

〈位置〉調査区北寄りのH13~15、 I 13~15、 J 14、15区にまたがり位置する。

〈重複関係〉11、13号建物、J 14土坑と重複する。桁行の軸方向が13号建物とほぼ同一である。J 14土坑よりは古いが、それぞれの建物との新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。 桁行723cm、梁間555cmで、面積は約12.2坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-8°-Wである。

〈柱穴〉 柱穴は 5 基検出されている。検出面での平面形で最大なものは49×48cm (P291)、最小は38×38cm (P293)、最深は20cm (P291)、最浅8cm (P293)である。P286には、径が22cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は8尺6寸(261cm)を基準とするが、6尺6寸(201cm)もある。梁行は18尺3寸(555cm)である。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 13号建物 (第16図、写真図版 5)

〈位置〉調査区北寄りのH13~15、 I13~15、 J15区にまたがり位置する。

〈重複関係〉11、12号建物と重複する。桁行の軸方向が12号建物とほぼ同一である。それぞれの建物との新 旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行4間、梁行2間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。 北側と南側の梁行の間隔が異なり、桁行の軸が平行でないのでややゆがんだ建物になっている。桁行804cm、 梁間456cmで、面積は約11.1坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-7°-Wである。

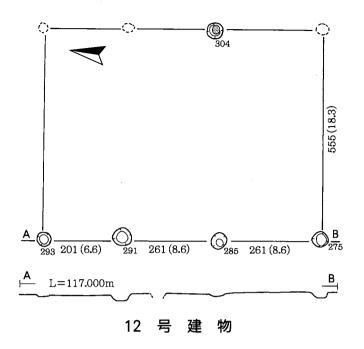
〈柱穴〉柱穴は12基検出されている。検出面での平面形で最大なものは64×58cm (P281)、最小は25×24cm (P480)、最深は46cm (P281、P472)、最浅9cm (P484)である。P292には、径が14cmの柱痕跡がある。

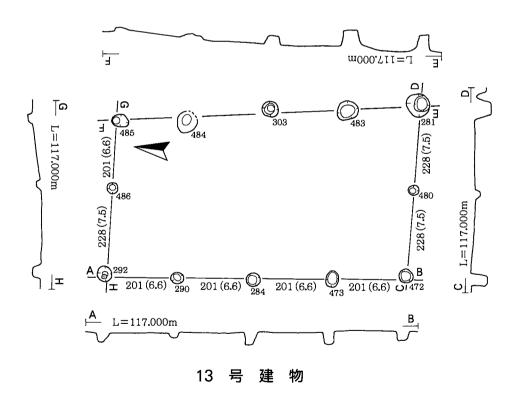
〈柱間寸法〉桁行は6尺6寸(201cm)を基準とする。梁行は7尺5寸(228cm)を基準とするが、北側の一部が6尺6寸(201cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

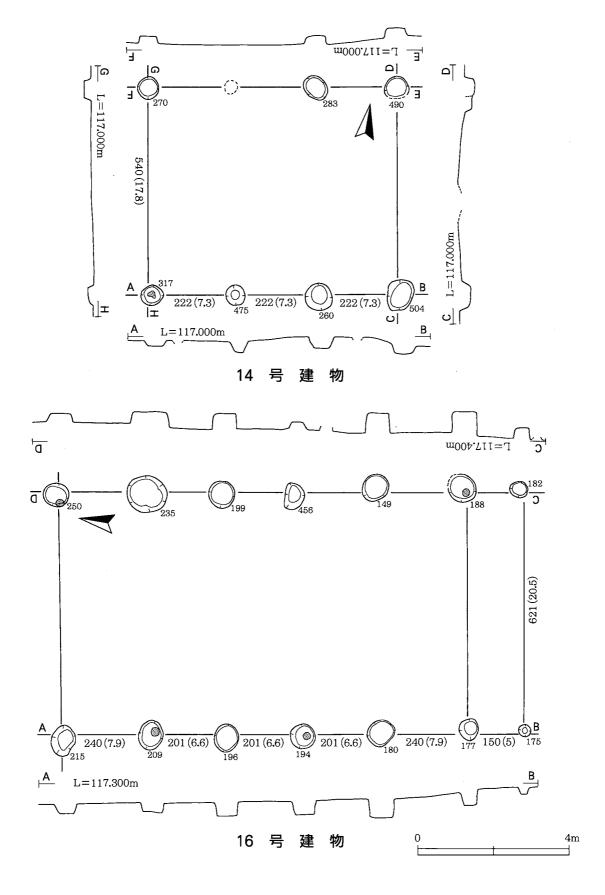
〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。





第16図 12号・13号建物 ---26---

4m



第17図 14号・16号建物 ---27---

#### 14号建物 (第17図、写真図版5)

〈位置〉調査区北寄りのH15~17、 I15~17、 J15、16区にまたがり位置する。

〈重複関係〉 J16土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみで間仕切り的な柱は見られない。 桁行666cm、梁間540cmで、面積は約10.9坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-80°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は7基検出されている。検出面での平面形で最大なものは71×54cm (P283)、最小は52×51cm (P475)、最深は35cm (P475)、最浅16cm (P317)である。P317には、径が23cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は7尺3寸(222cm)を基準とする。梁行は17尺8寸(540cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世後半~近世にかけての時期の建物と考えられる。

#### 15号建物(第18図、写真図版6)

〈位置〉調査区中央のH17、18、 I17~21、 J17~21、 K17~21区にまたがり位置する。

〈重複関係〉16、17号建物、I 21①、②土坑、J 21①、②土坑と重複するが、それぞれの遺構より本遺構は新しい。

〈平面形式〉検出部分では、桁行6間半、梁行5間の直屋である。建物の東西に半間の下屋を伴う。下手に 土間、上手奥行きに2部屋、その下手に2部屋あり、奥の2部屋の間仕切りと手前の2部屋の間仕切りが食 い違いになっている。桁行1497cm、梁間915cmで、面積は約41.5坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-8°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は40基検出されている。検出面での平面形で最大なものは94×83cm (P248)、最小は22×20cm (P213)、最深は80cm (P183)、最浅4cm (P213)である。P154、P183、P184、P193、P210、P214、P231、P248、P251、P505には、それぞれ径が20cm、20cm、21cm、24cm、33cm、24cm、14cm、26cm、25cm、20cmの柱痕跡がある。上屋柱の堀方は径が73~94cmあり、下屋柱の2倍近くある。また、柱痕跡から柱の太さは約20~33 cmあり、柱は堀方の内側に寄る傾向がある。

〈柱間寸法〉析行は7尺3寸(約222cm)を基準とし、土間にあたる部分の南端は8尺1寸(約246cm)、4尺7寸(約141cm)になっている。梁行は6尺6寸(約201cm)が基準になっており、上屋柱と下屋柱の間隔は、東側が4尺7寸(約141cm)、西側が5尺6寸(約171cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から母屋であると考えられる。

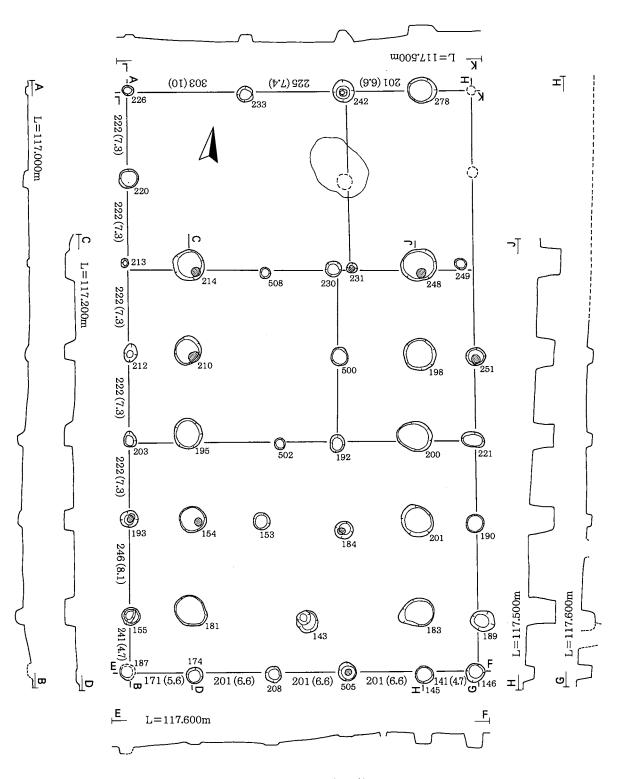
〈時代〉遺物は出土していないが、形状から江戸時代中頃の建物と考えられる。

#### 16号建物 (第17図、写真図版6)

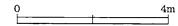
〈位置〉調査区中央の I 18~21、 J 18~21、 K 18~21区にまたがり位置する。

〈重複関係〉15、17号建物、J21①、②土坑と重複する。15号建物より古く、17号建物、それぞれの土坑より新しいと考えられる。

〈平面形式〉検出部分では、桁行5間半、梁行1間の直屋である。上屋柱のみの検出であるが、下手に張り



15 号 建 物



第18図 15号建物

出す半間の下屋と見られる張り出しがあることから、15号建物同様、建物の表裏に下屋をもつ構造の可能性がある。桁行1233cm、梁間621cmで、面積は約23.2坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-10°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は14基検出されている。検出面での平面形で最大なものは106×95cm (P235)、最小は36×30cm (P175)、最深は67cm (P188)、最浅18cm (P456)である。P188、P194、P209、P250には、それぞれ径が19cm、20cm、24cm、20cmの柱痕跡がある。柱痕跡から柱の太さは約19~24cmである。

〈柱間寸法〉桁行は6尺6寸(約201cm)を基準とし、上屋柱の南北両端が7尺9寸(約240cm)になっており、下屋柱との間隔は5尺(約150cm)である。梁行は20尺7寸(約621cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から母屋であると考えられる。

〈時代〉遺物は出土しておらず、時代は不明であるが、15号建物に先立つ建物と考えられ、江戸時代前半~中頃にかけての建物であろう。

### 17号建物(第19図、写真図版6)

〈位置〉調査区中央の I 18~20、 J 18~20、 K 18~21区にまたがり位置する。

〈重複関係〉15、16号建物と重複する。それぞれの建物より古く、それらの建物に先立つ建物と考えられる。 〈平面形式〉検出部分では、桁行4間、梁行2間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行816cm、梁間501cmで、面積は約12.4坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-10°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは52×36cm(P218)、最小は30×27cm (P223)、最深は43cm(P151)、最浅8cm(P191)である。P223には、径が12cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は7尺3寸(約222cm)を基準とするが、5尺(約150cm)もある。梁行は9尺2寸(約279cm)、7尺3寸(約222cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉遺物は出土しておらず、時代は不明であるが、15号、16号建物に先立つ建物と考えられ、中世末~ 近世前半にかけての建物であろう。

### 18号建物 (第19図、写真図版7)

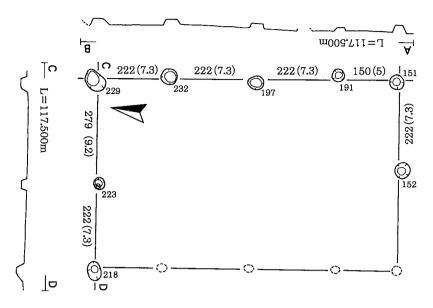
〈位置〉調査区中央の I 22、23、 J 21~23、 K 21~23区にまたがり位置する。

〈重複関係〉19、20、21号建物、J22①、②、③、I22土坑と重複する。19号建物より古く、J22③土坑より新しい。

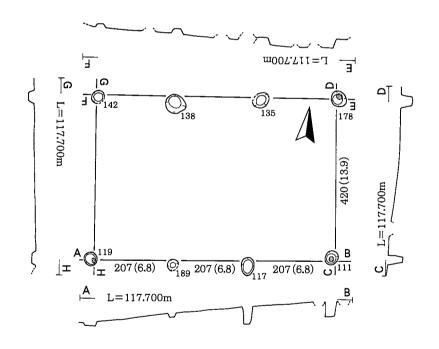
〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行621cm、梁間420cmで、面積は約7.9坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-84°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは54×48cm(P138)、最小は28×26cm (P109)、最深は52cm(P117)、最浅11cm(P119)である。P111、P117、P119、P178には、それぞれ径が13cm、9 cm、11cm、16cmの柱痕跡がある。



17 号 建 物



18 号 建 物



第19図 17号・18号建物

〈柱間寸法〉桁行は6尺8寸(約207cm)を基準とする。梁行は13尺9尺(約420cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。15号建物に付属する可能性がある。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 19号建物 (第20図、写真図版7)

〈位置〉調査区中央の I 22、23、 J 21~23、 K21~23区にまたがり位置する。

〈重複関係〉18、20、21号建物、J 22①、②、③、I 22土坑と重複する。18号、20号建物、J 22③土坑より新しい。その他の遺構との新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間半の直屋である。上屋柱と南側に下屋柱を検出した。桁行549cm、梁間444cmで、面積は約7.4坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-81°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は12基検出されている。検出面での平面形で最大なものは56×47cm (P133)、最小は37×34cm (P120)、最深は68cm (P104)、最浅15cm (P120)である。P112、P116、P117、P118 、P120、P133には、それぞれ径が14cm、12cm、9cm、14cm、14cm、16cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉析行は6尺(約183cm)を基準とする。梁行は11尺9寸(約360cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。15号建物に付属する可能性がある。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 20号建物(第20図、写真図版7)

〈位置〉調査区中央の I 22、23、 J 21~23、 K 21~23区にまたがり位置する。

〈重複関係〉18、19、21号建物、J22①、③、I22土坑と重複する。18号、19号建物より古い。I22土坑は、位置から、本遺構に伴う土坑の可能性がある。その他の遺構との新旧関係は不明である。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行2間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行543cm、梁間361cmで、面積は約5.9坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-83°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は9基検出されている。検出面での平面形で最大なものは50×47cm(P108)、最小は38×36cm (P179)、最深は62cm(P100、P114)、最浅24cm(P139)である。P129、P139、P179には、それぞれ径が12cm、23cm、16cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は6尺6寸(約201cm)を基準とするが、4尺7寸(約141cm)もある。梁行は6尺2寸(約189cm)、5尺7寸(約172cm)になっている。

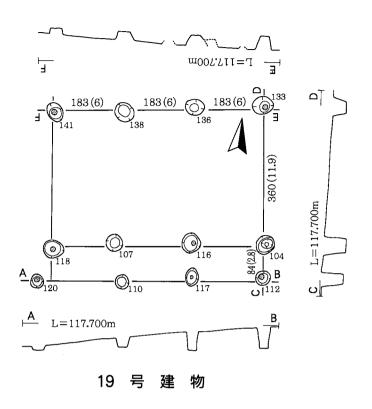
〈出土遺物〉なし

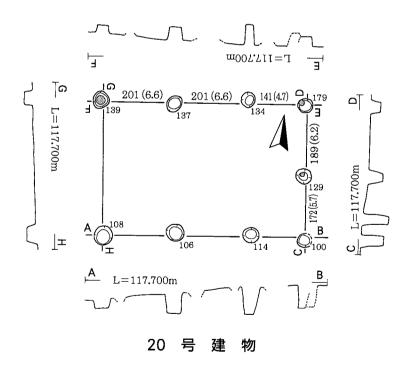
〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。15号建物に付属する可能性がある。

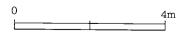
〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 21号建物(第21図、写真図版7)

〈位置〉調査区中央のJ21、22、K21、22、L21、22区にまたがり位置する。







第20図 19号・20号建物

〈重複関係〉18、19、20号建物、I 22土坑と重複する。I 22土坑より新しい。その他の建物との新旧関係は不明であるが、本遺構が桁行の軸方向が、16号建物の梁行方向と一致するので付属する建物の可能性があり、18、19、20号建物より古い遺構になる。

〈平面形式〉検出部分では、桁行4間、梁行2間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行798cm、梁間372cmで、面積は約9.0坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-79°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は11基検出されている。検出面での平面形で最大なものは67×45cm(P170)、最小は38×36cm (P102)、最深は74cm(P102)、最浅15cm(P130)である。P131、P158、P176には、それぞれ径が20cm、16cm、18cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は一定せず7尺5寸(約228cm)、5尺9寸(約180cm)、6尺6寸(約201cm)、6尺2寸(約189cm)とばらばらである。梁行は6尺6寸(約201cm)、5尺6寸(約171cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。16号建物に付属する可能性がある。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 22号建物(第22図、写真図版7)

〈位置〉調査区南寄りのJ24~26、K24~26、L24~26区にまたがり位置する。

〈重複関係〉23号建物と重複し、本遺構の方が古い。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行2間半の直屋である。上屋柱と南側に下屋柱を検出した。桁行744cm、梁間639cmで、面積は約14.4坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN―89°―Eである。

〈柱穴〉柱穴は12基検出されている。検出面での平面形で最大なものは $57 \times 57$ cm(P8)、最小は $36 \times 34$ cm(P20)、最深は86cm(P19)、最浅13cm(P7)である。P6には、径が14cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は8尺6寸(約261cm)を基準とするが、7尺3寸(約222cm)もある。梁行は7尺9寸(約240cm)、9尺9寸(約300cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉不明である。25号建物とは桁行の軸方向がほぼ一致する。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 23号建物 (第22図、写真図版7)

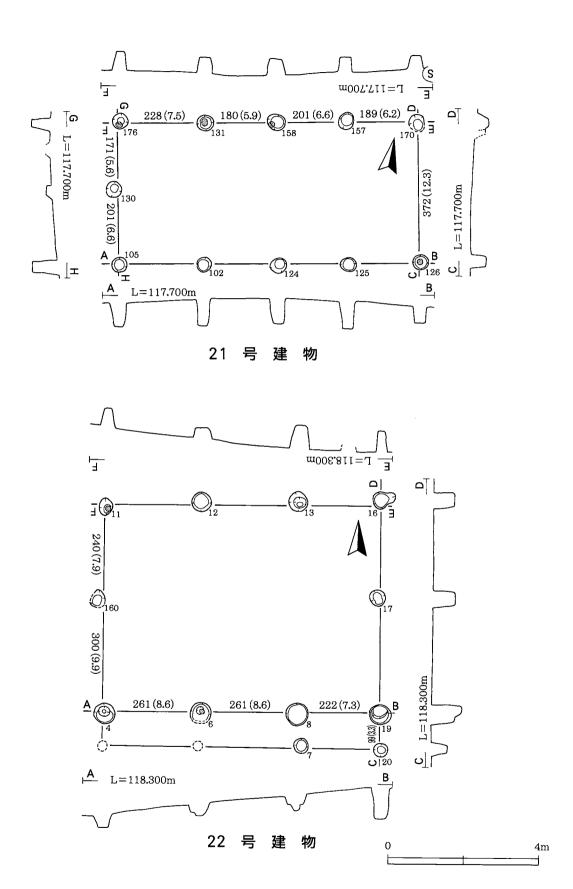
〈位置〉調査区南寄りのJ24、25、K24~26、L25、26区にまたがり位置する。

〈重複関係〉22号建物と重複し、本遺構の方が新しい。

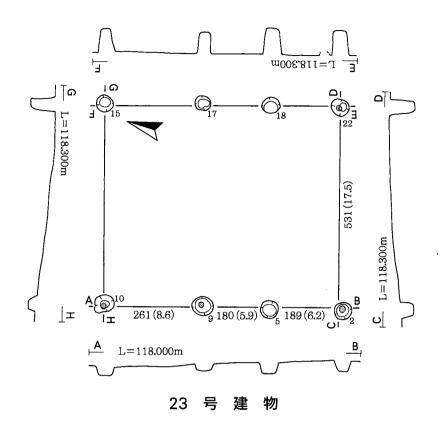
〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行630cm、梁間531cmで、面積は約10.1坪である。

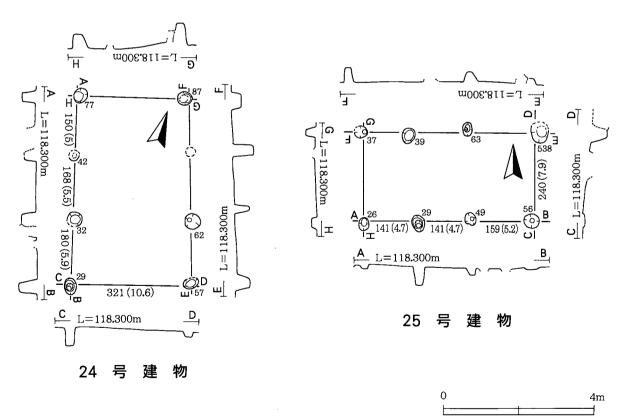
〈建物方位〉桁行の軸方向はN-18°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは54×48cm(P9)、最小は40×38cm(P17)、最深は70cm(P18)、最浅23cm(P9)である。P2、9、10、22には、それぞれ径が19cm、14cm、16cmの柱痕跡がある。



第21図 21号・22号建物





第22図 23号・24号・25号建物 ---36---

〈柱間寸法〉桁行は一定せず、8尺6寸(約261cm)、5尺9寸(約180cm)、6尺2寸(約189cm)とばらばらである。梁行は17尺5寸(約531cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉不明である。24号建物とは桁行の軸方向がほぼ一致する。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 24号建物 (第22図、写真図版7)

〈位置〉調査区南寄りのL24~26、M24、25区にまたがり位置する。

〈重複関係〉25号建物、L24土坑、L25柱穴列と重複する。L24土坑より古い。その他の遺構との新旧関係は不明であるが、23号建物とは桁行の軸方向がほぼ一致し、付属施設の可能性があるので、25建物が22号建物の付属施設であれば、本遺構の方が新しいことになる。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行498cm、梁間321cmで、面積は約4.8坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-18°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は7基検出されている。検出面での平面形で最大なものは44×32cm(P29)、最小は径30cm(P42)、 最深は60cm(P87)、最浅28cm(P62)である。

〈柱間寸法〉桁行は一定せず、 5 尺(約150cm)、 5 尺 5 寸(約168cm)、 5 尺 9 寸(約180cm)とばらばらである。 梁行は10尺 6 寸(約321cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

### 25号建物 (第22図、写真図版7)

〈位置〉調査区南寄りのL25、M25、26区にまたがり位置する。

〈重複関係〉24号建物、M24柱穴列、L25柱穴列と重複する。L25柱穴列より古い。その他の遺構との新旧関係は不明であるが、22号建物とは桁行の軸方向がほぼ一致し、付属施設の可能性があるので、24建物が22号建物の付属施設であれば、本遺構の方が新しいことになる。

〈平面形式〉検出部分では、桁行3間、梁行1間の直屋である。上屋柱のみの検出である。桁行441cm、梁間240cmで、面積は約3.2坪である。

〈建物方位〉桁行の軸方向はN-91°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は8基検出されている。検出面での平面形で最大なものは44×32cm(P29)、最小は長径33×31 cm(P37)、最深は67cm(P39)、最浅10cm(P26)である。P63には、径が10cmの柱痕跡がある。

〈柱間寸法〉桁行は4尺7寸(約141cm)を基準とし、5尺2寸(約159cm)もある。梁行は7尺9寸(約240cm)になっている。

〈出土遺物〉なし

〈建物の性格〉規模や形状から小屋であると考えられる。

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の建物と考えられる。

# 表 3 建物毎柱穴一覧

			1	号	建 4	<b>匆</b>	主 ゲ	7		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
326		52		46		18	116	. 34		
333		58		47		40	11	6. 2		
368		48		43		37	116	. 22		16
372		48		45		32	116	. 24		
377		60		56		27	116	. 22		
379		46		38		21	116	. 32		

		2 号 ;	建物植	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
298	62	58	20	116. 45		
316	34	34	13	116. 3		
327	56	50	10	116. 48		
353	53	53	31	116. 32		20
355	56	54	27	116. 37		
361	58	57	30	116. 31		22
363	56	52	22	116. 4		
371	60	52	14	116. 41		
520	62	56	4	116. 42		18
521	55	49	7	116. 45		18
522	36	36	5	116. 36		
523	47	40	4	116. 32		
524	32	29	5	116. 38		
525	32	32	4	116. 46		14
526	33	27	4	116. 27		
527	26	22	2	116. 28		
530	48	46	10	116. 48		

			3	号	建 :	物材	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	τ		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
323		65		65		21	116.	36		19
324		57		55		19	116.	38		18
330		53		48		28	116.	31		
331		56		50		20	110	6. 4		16
334		27		23		5	116.	53		
336		80		74		37	116.	21		
340		34		30		27	116.	34		
345		72		70		46	116.	18		
354		52				17	116.	46		
369		19		19		15	116.	42		
382		66		63		36	116.	24		
386		68				31	116.	25		
391		54		54		15	116.	47		
398		60		52		21	116.	44		
400		54		50		20	116.	43		
402		71		66		37	116.	26		
405		55		51		20	116.	47		
406		61		58		24	116.	43		18
409				54		46	116.	21		
412		48		46		11	116.	56		14
530		48		46		10	116.	48		

		4	4 <del>-</del>	号	建生	<b>匆</b>	主	:		
番号	長径(c	m)   失	<b>並径</b>	(cm)	深さ	(cm)	標高	(сп)	柱痕径	(cm)
332	7	0		62		21	116.	36		
348	4	9		48		31	116.	26		
352	4	2		34		15	116.	48		
359	3.	4		33		16	116.	44		
366	5.	3		48		12	116.	54		
385	4:	2		40		29	116.	31		
388	5	3		35		21	116.	28		
403	4	8				12	116.	47		15

		5	号	建 :	物材	<u></u> 主 か			
番号	長径(cī	) 短征	圣 (cm)	深さ	(cm)	標髙	(cm)	柱痕径	(cm)
328	56		52		22	116.	36		
332	70		62		21	116.	36		
349	37		32		12	116.	46		
383	65		52		23	116.	39		
387	70		70		39	116.	19		
450	70		54		18	116.	43		16
466			60		49	116.	16		
514	36		33		24	116.	41		

			6	号	建 !	物材	主	:		
番号	長径	(сп)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
424		35		31		53	116.	09		
425		54		41		51	116.	09		
435		34		28		16	116.	45		19
439		44		34		45	116.	11		
449		52		44		40	11	6. 1		
537		44		44		14	116.	32		

			7	号	建 4	勿札	主が	:		
番号	長径(	cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
436	5	54		45		26	116.	36		
440	3	36		32		47	115.	92		
493	5	55		40		20	116.	35		
494	5	50		50		29	116.	19		
496	3	38		31		20	116.	39		

			8	号	建 !	物材	主が	:		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標髙	(cm)	柱痕径	(cm)
416		58		46		78	115.	86		20
419		36		30		34	110	6. 3		
421		54		42		36	116.	24		
423		58		54		70	115.	93		
438		44		41		41	116.	21		22
465		48				70	115.	82		

			9	号	建生	勿 柞	主 ゲ	:		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
418		46		42		30	116.	34		14
420		44		42		29	116.	35		
434		66		60		28	116.	34		25
463		68				19	116.	43		
464		70		48		22	116.	32		

		10 号	建物植	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
417	42	38	58	116.06		
420	44	42	29	116. 35)		
441		47	32	116.08		
443	46	37	37	116. 23		18
492	51	41	50	116. 13		
529	63	52	29	116.06		
536	50		48	116.05		

		11	号	建	物 柞	主	7		
番号	長径(cr	1) 短征	ĭ (cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
272	44		43		34	116	. 56		
282	5∠		38		28	116	. 57		
286	45	j	42		10	116	. 68		20
287	36	5	33		24	116	. 53		
288	43	3	42		8	116	. 69		
302	46	5	45		14	116	. 64		12
471	60	)	48		33	116	. 53		
489	58	3	58		16	116	. 55		

			12	号	建生	勿す	主 ゲ	τ		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
275		44		41		15	116.	69		
285		46		42		10	11	6. 7		
291		49		48		20	116.	56		
293		38		38		8	116.	65		
304		42		40		15	116.	57		22

			13	号	建 !	物材	主 ク	ブ		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
281		64		58		46	116	. 43		
284		37		36		35	116	. 44		
290		33		30		36	11	6. 4		
292		42		40		30	116	. 45		14
303		45		42		25	116	. 46		
472		36		36		46	11	6. 4		
473		43		30		37	116	. 46		
480		25		24		16	116	. 75		
483		54		48		35	116	. 44		
484		59		54		9	116	. 45		
485		43		33		16	116	. 26		
486		28		25		17	116	. 52		

		14 号	建物は	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
260	76	68	31	116.69		
270	60	55	19	116.64		
283	71	54	32	116. 62		
317	55	52	16	116. 74		23
475	52	51	35	116.65		
490	88	64	27	116. 52		
504	88	66	30	116.62		

				主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)		柱痕径	(cm)
143	62	56	34	116.88		
145	49	45	30	117. 08		
146	52	50	41	116. 92		
153	44	44	17	116. 98		
154	73	67	47	116. 53		20
155	47	47	28	116.68		
174	46	44	18	116. 9		
181	86	77	53	116. 51		
183	83	75	80	116. 49		20
184	48	43	25	117.01		21
187	40		17	116. 78		
189	68	51	33	116.84		
190	48	45	20	116.9		
192	46	39	14	117. 05		
193	44	42	13	116.77		24
195	80	74	43	116. 55		
198	86	84	50	116. 55		
200	92	78	53	116.56		
201	90	78	70	116.55		
203	42	35	7	116.76		
208	43	42	26	116.98		
210	78	70	45	116. 5		33
212	50	36	27	116. 59		
213	22	20	4	116. 83		
214	80	77	48	116. 49		24
220	52	51	14	116. 75		
221	62	40	23	116. 81		
226	31	26	6	116.84		
230	44	38	8	116.96	L	
231	28	26	20	116.85		14
233	45	42	18	116.84		
242	60	54	32	116. 73		
248	94	83	59	116. 37		26
249	32	27	8	116. 83		
251	54	48	25	116.84		25
278	78	66	27	116. 62		
500	49	45	18	116. 94		
502	28	28	7	117. 05		
505	50	45	29	117. 09		20
508	30	28	11	116. 9		

			16	号	建 !	物	注 ゲ	τ		
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
149		77		69		54	116	. 65		
175		36		30		20		117		
177		56		52		44	11	6. 7		
180		72		64		42	116	. 67		
182		50		44		27	117.	. 05		
188		83		74		67	116	64		19
194		67		64		37	116	. 67		20
196		74		64		40	116	62		
199		70		68		42	116	. 67		
209		77		66		30	116	. 75		24
215		72		58		29	116	. 69		
235		106		95		45	116	. 58		
250		67		61		25	116	65		20
456		70		50		18	11	6. 9		_

		17 号	建物材	主穴	
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高(cm)	柱痕径(cm)
151	38	35	43	116. 83	
152	42	35	40	116. 78	
191	32	29	8	117. 1	
197	43	33	13	116. 99	
218	52	36	22	116. 72	
223	30	27	5	116. 97	12
229	60		19	116. 86	
232	43	40	13	116. 89	

		18 号	建物、植	主穴		
番号	長径 (cm)	短径(cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
109	28	26	13	117. 2		
111	34	32	42	117. 25		13
117	48	32	52	117. 01		9
119	36	34	11	116.96		11
135	46	40	18	117. 11		
138	54	48	25	116. 22		
142	36	32	15	116. 83		
178	42		34	117. 05		16

		19 号	建物植	主 穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
104	50	43	68	116. 93		
107	44	41	40	116. 88		
110	38	36	28	117. 09		
112	41	37	57	117. 1		14
116	52	48	54	116. 93		12
117	48	32	52	117. 01		9
118	56	46	19	116. 93		14
120	37	34	15	116. 97		14
133	56	47	36	117. 01		16
136	50	45	29	117		
138	54	48	25	116. 22		
141		40	17	116. 85		

	- <del></del>	20 号	建物材	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高(cm)	柱痕径	(cm)
100	38		62	117. 03		
106	46	46	52	116.84		
108	50	47	.27	116. 96		
114	43	40	62	116.85		
129	40	40	38	117. 08		12
134	40	36	52	116.83		
137	47	38	33	116. 92		
139	45	42	24	116.86		23
179	38	36	25	117. 14		16

		21 号	建物植	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
102	38	36	74	116.88		
105	41	41	61	116.88		
124	44	40	67	116. 96		
125	42	36	63	116. 93		
126	40	39	47	116. 95		
130	42	40	15	116. 47		
131	43	42	46	116. 92		20
157	44	39	42	116. 92		
158	47	43	47	116. 95		16
170	67	45	45	116.88		
176	42	41	50	116. 78		18

			22	号	建生	物 柞	主ク			
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
4		54		54		36	117.	06		
6		53				45	117.	31		14
7		40		38		13	117.	92		
8		57		57		40	117.	. 58		
11		44		36		54	116.	94		
12		50		50		30	117.	. 42		
13		55		50		66	11	7. 4		
16		46		44		57	117.	55		
17		40		38		59	117.	. 54		
19		55		49		86	117.	36		
20		36		34		43	117.	. 73		
160		46				18	117.	. 23		

		23 号	建物材	主穴		
番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	標高 (cm)	柱痕径	(cm)
2	47	47	36	117. 49		19
5	45	45	32	117. 44		
9	54	48	23	117. 51		14
10	51	46	36	117. 29		16
15	44	43	65	117. 44		
17	40	38	59	117. 54		
18	49	41	70	117. 44		
22	48	42	69	117. 49		16

			24	号	建 4	物 柞	主 穴			
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
29		44		32		52	117.	61		
32		40		40		40	11'	7. 7		
42		30				33	117.	77		
57				29		51	117.	55		
62		44		40		28	11'	7. 7		
77		42		34		38	117.	71		
87		38		36		60	117.	41		

			25	号	建生	物材	主 ゲ	7		
番号	長径(	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
26		33		25		10	118	. 09		
29		44		32		52	117	. 61		
37		33		31		28	117	. 88		
39		42		34		67	11	7. 4		
49		34		30		20	11	7. 9		
55	,	40		36						
63		36		24		42	117	. 61		10
538		44				43	117	. 52		

			M	24	柱	穴	列			
番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
59		50				65	117.	35		
65		42		42		40	117.	57		
89		37		33		59	117.	36		
95		39		34		59	117.	35		

Ī			L	25	号	建	物	柱	穴		
	番号	長径	(cm)	短径	(cm)	深さ	(cm)	標高	(cm)	柱痕径	(cm)
	31		42		39		59	117	. 51		
	46		48		43		48	117	. 56		
	61		48				53	117	. 42		

# 表 4 建物一覧表

遺構名	梁行×桁行	建物方位	柱	柱間寸法 (桁行)	柱間寸法(梁行)	坪	性格
1号	3間×1間	N-20° -W	6	7尺9寸	13尺 9 寸	9. 5	不明
2号	5間×1.5間	N−88° −E	12	7尺3寸 (7尺、10尺6寸)	24尺 2 寸	26. 9	母屋
3号	4間×5間	N−80° −E	20	6尺6寸、7尺9寸	4尺1寸、4尺6寸、7尺、9尺1寸	23. 8	母屋
4号	3間×2間	N−79° −E		10尺3寸、10尺、9尺4寸	17尺 2 寸	14. 1	母屋
5号	4間×1間	N−79° −E	8	7尺2寸	19尺 1 寸	15. 4	母屋
6 号	3間以上×2間以上			5尺9寸 (7尺2寸)	5尺9寸、4尺7寸		小屋
7号	2間以上×2間以上			6尺6寸、7尺2寸	4尺4寸、5尺2寸		小屋
8号	3間以上×2間以上			4尺7寸、5尺1寸、6尺1寸	6尺9寸		小屋
9号	2間以上×2間以上			9尺2寸	5尺		小屋
10号		N−73° −E		5尺9寸	6尺		小屋
11号	4間×1間	N−82° −E	8	9尺1寸	18尺 5 寸	18.8	母屋
12号	3間×1間	N-8°-W	5	8尺6寸 (6尺6寸)	18尺 3 寸	12. 2	小屋
13号	4間×2間	N-7°-W		6尺6寸	7尺5寸基準(6尺6寸)	11. 1	小屋
14号		N−80° −E		7尺3寸	17尺8寸	10. 9	小屋
	6.5間×5間	N-8°-W	40	7尺3寸(8尺1寸、4尺7寸)	6尺6寸基準(4尺7寸、5尺6寸)	41.5	母屋
16号	5.5間×1間	N−10° −W	14	6尺6寸(7尺9寸、5尺)	20尺7寸	23. 2	母屋
17号	4間×2間	N−10° −W	8	7尺3寸 (5尺)	9尺2寸、7尺3寸	12. 4	小屋
18号	3間×1間	N−84° −E	8	6尺8寸	13尺 9 寸	7. 9	小屋
19号	3間×1.5間	N−81° −E	12	6尺	11尺9寸	7. 4	小屋
20号	3間×2間	N−83° −E	9	6尺6寸(4尺7寸)	6尺2寸、5尺7寸	5. 9	小屋
21号	4間×2間	N−79° −E		7尺5寸、5尺9寸、6尺6寸、6尺2寸	6尺6寸、5尺6寸	9	小屋
22号	3間×2.5間	N-89°-E	12	8尺6寸 (7尺3寸)	7尺9寸、9尺9寸	14. 4	不明
23号	3間×1間	N−18° −W	8	8尺6寸、5尺9寸、6尺2寸	17尺5寸	10. 1	不明
	3間×1間	N−18° −W	7	5尺、5尺5寸、5尺9寸	10尺6寸	4.8	小屋
25号	3間×1間	N-91° -E	8	4尺7寸 (5尺2寸)	7尺9寸	3. 2	小屋

### (2) 柱穴列

M24柱穴列(第23図、写真図版7)

〈位置〉調査区南寄りのM24、25区にまたがり位置する。

〈重複関係〉24、25号建物、L25柱穴列と重複する。新旧関係は不明である。24号建物とは桁行の軸方向がほぼ一致する。

〈平面形式〉検出部分では、3間分の柱穴である。

〈方位〉柱穴列の軸方向はN-17°-Wである。

〈柱穴〉柱穴は4基検出されている。検出面での平面形で最大なものは径が50cm(P29)、最小は長径37×33cm(P89)、最深は65cm(P59)、最浅40cm(P65)である。

〈柱間寸法〉桁行は5尺2寸(約159cm)を基準とし、5尺6寸(約171cm)もある。

〈出土遺物〉なし

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の遺構と考えられる。

### L25柱穴列(第23図、写真図版7)

〈位置〉調査区南寄りのL25、M25区にまたがり位置する。

〈重複関係〉24、25号建物、M24柱穴列と重複する。新旧関係は不明である。24号建物とは梁行の軸方向がほぼ一致する。

〈平面形式〉検出部分では、2間分の柱穴である。

〈方位〉柱穴列の軸方向はN-33°-Eである。

〈柱穴〉柱穴は3基検出されている。検出面での平面形で最大なものは径が48×43cm (P46)、最小は42×39cm (P31)、最深は59cm (P31)、最浅48cm (P46)である。

〈柱間寸法〉桁行は6尺9寸(約210cm)と、6尺7寸(約201cm)である。

〈出土遺物〉なし

〈時代〉周辺から出土している遺物から、中世末~近世にかけての時期の遺構と考えられる。

### (3) 墓壙

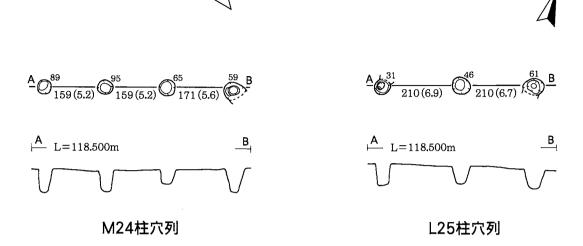
N29墓壙 (第23図、写真図版8)

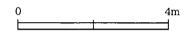
遺構 調査区南端N29区に位置する。屋敷跡の敷地の南端にあたる。平面形は開口部径132×58cm、底部径78×35cmの楕円形を呈する。断面形は、深さ48cmの底の丸い深鉢状をしている。長軸方向はN-25°-W。埋土は、主ににぶい黄褐色、灰黄褐色の砂及び細砂で、底面近くから成人の歯数点とひもに通した寛永通宝が数枚出土した。出土遺物は地権者の要望で埋葬したため図化していない。出土遺物から江戸時代の遺構と考えられる。

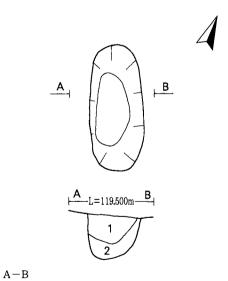
### (4) 土坑

E8土坑 (第24図、写真図版8)

遺構 調査区北端のE8、E9区にまたがり位置する。6層削剥後地山面で黒褐色土の広がりとして検出した。平面形は開口部径270×172cm、底部径100×63cmの楕円形を呈する。断面形は、深さ74cmの浅鉢状をしている。埋土は、主に黄褐色土、黒色土が混在した黒褐色土で、人為的埋めもどしの様相をしている。







1 10YR 5 / 3 にぶい黄褐色砂 微量花崗岩風化砂含 2 10YR 4 / 2 灰黄褐色砂 多量花崗岩風化砂含

# N29墓壙



第23図 柱穴列・墓壙 --43---

土坑内からの出土遺物はないが、埋土がII層とは全く異なることから、時代は不明であるが平場整地以前の 遺構と考えられる。

### F8土坑 (第24図、写真図版8)

遺構 調査区北端のF8区に位置する。II層削剥後地山面で黒色土の混在するにぶい黄褐色土の広がりとして検出した。平面形は開口部径147×132cm、底部径78×60cmの楕円形を呈し、断面形は深さ49cmの浅鉢状をしている。埋土は、主に黒色土が混在するにぶい黄褐色土、黄橙色土で構成され、人為的埋めもどしの様相をしている。土坑内からの出土遺物はないが、埋土がII層とは全く異なることから、時代は不明であるが平場整地以前の遺構と考えられる。

### D9土坑 (第24図、写真図版8)

遺構 調査区北端のD9、E9区にまたがり位置する。II層削剥後地山面で明褐色土の広がりとして検出した。平面形は開口部径223×196cm、底部径70×62cmの楕円形を呈する。断面形は、深さ90cmの浅鉢状をしている。埋土は、主に焼土、炭化物、黄褐色土、黒色土が混在した明褐色土、褐色土、黒褐色土で、底面近くの5層には焼土を多量含む。底面近くから32×21×7cmの亜角礫が1個出土している。土坑内からの出土遺物はないが、埋土がII層とは全く異なることから、時代は不明であるが平場整地以前の遺構と考えられる。

### F9①土坑 (第24図、写真図版9)

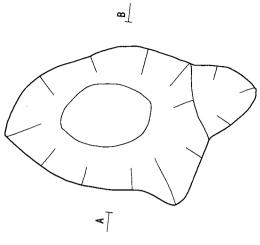
遺構 調査区北端のF9区に位置する。II層削剥後地山面で黒褐色土の混在する黄橙色土の広がりとして検出した。F9②土坑と重複するが、本遺構の方が新しい。平面形は開口部径170×154cm、底部径54×47cm の楕円形を呈し、断面形は深さ54cmの浅鉢状をしている。埋土は、主に黒褐色土と黄橙色土が混在する土で構成される。底面近くから28×22×16cmの亜角礫が1個出土している。土坑内からの出土遺物はないが、埋土がII層とは全く異なることから、時代は不明であるが平場整地以前の遺構と考えられる。

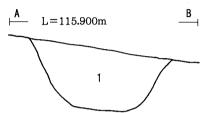
### F 9 ②土坑 (第25図、写真図版 9)

遺構 調査区北端のF9区に位置する。II層削剥後地山面で黒褐色土の広がりとして検出した。F9①土 坑と重複するが、本遺構の方が古い。平面形は開口部径156×130㎝、底部径36×36㎝の楕円形を呈する。断面形は、深さ30㎝の浅皿状をしている。埋土は、主に黄褐色土、黒色土が混在した黒褐色土で、人為的埋めもどしの様相をしている。土坑内からの出土遺物はないが、埋土がII層とは全く異なることから、時代は不明であるが平場整地以前の遺構と考えられる。

### C11土坑 (第25図、写真図版9)

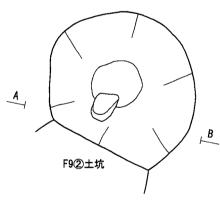
遺構 調査区北端のC11区に位置する。C11住居の炉精査後、暗褐色土の広がりとして検出した。平面形は開口部径110×100cm、頸部径100×90cm、底部径105×104cmの楕円形を呈し、断面形は深さ66cmのフラスコ状をしている。埋土は、炭化物を含む暗褐色土、褐色土、にぶい黄褐色砂質土で構成される。自然埋没の様相をしている。土坑内からの出土遺物はないが、縄文時代中期の遺構と考えられる。

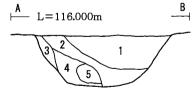




A-B 1 10YR2/3 黒褐色土 黄褐色土、黒色土混在

### E8土坑





A - D
1 10YR 3 / 2 黒褐色土 明黄褐色土含
2 10YR 6 / 8 明黄褐色土 微量黒色土混在
3 10YR 7 / 4 にぶい黄橙色土
4 10YR 8 / 3 浅黄橙色土

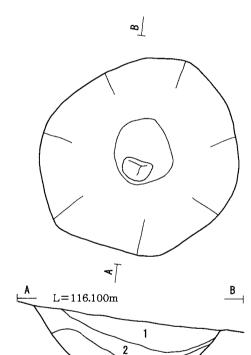
F9①土坑

<u>A</u> L=115.700m

A-B

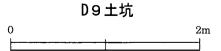
A-D 1 10YR5/3 にぶい黄褐色土 黒色土混在 2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 黄橙色土混在 3 10YR6/3 にぶい黄橙色土 にぶい黄褐色土混在

### F8土坑

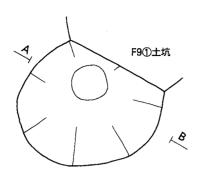


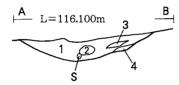
A - B

A-B
1 7.5YR5/6 明褐色土 黄褐色土、黒色土ブロック、焼土炭化物多量混在
2 7.5YR4/6 褐色土 焼土、炭化物、黒色土含
3 10YR2/2 黒褐色土 炭化物、黒色土ブロック混在
4 10YR6/4 にぶい黄橙色砂質土 地山崩壊土
5 10YR3/2 黒褐色土 暗示褐色焼土含



第24図 土坑 1





- A-B

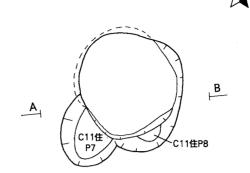
   1
   10YR8/8
   黄橙色土 黒褐色土含

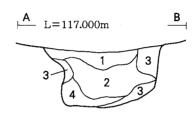
   2
   10YR2/2
   黒褐色土 黄橙色土ブロック混在

   3
   10YR8/3
   浅黄橙色土

   4
   10YR3/2
   黒褐色土 黄橙色土ブロック混在

F9②土坑





A-B

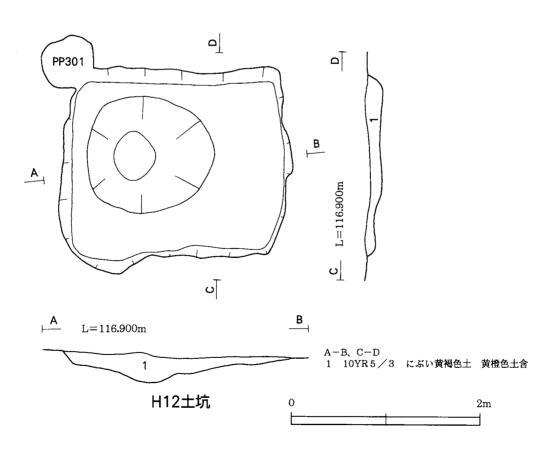
- 1
   10YR3/4
   暗褐色土
   炭化物、焼土含

   2
   10YR4/4
   褐色土
   炭化物、焼土、黄褐色土ブロック含

   3
   10YR5/4
   にぶい黄褐色砂質土
   炭化物、小礫含

   4
   10YR4/6
   褐色土
   炭化物、褐色、黄褐色土ブロック含

# C11土坑



第25図 土坑 2

### H12土坑 (第25図、写真図版 9)

遺構 調査区北寄りのH12、13区、I12、13区にまたがり位置する。6層削剥後地山面でにぶい黄褐色土の方形の広がりとして検出した。柱穴状土坑301、462と重複するが、本遺構の方が古い。平面形は開口部径243×198cm、底面径224×170cmの長方形を呈する。断面形は、深さ30cmの浅皿状をしている。埋土は、風化砂や褐色土が混在するにぶい黄褐色土である。土坑内からの出土遺物はないが、埋土の状況から、周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

#### F14土坑 (第26図、写真図版10)

遺構 調査区中央やや北寄りのF14、15区、G14、15区にまたがり位置する。II層削剥後地山面でにぶい 黄褐色土のの広がりとして検出した。11号建物と重複するが、本遺構の方が新しい。平面形は開口部径 468×203cm、底面径427×180cmの長方形を呈し、断面形は深さ22cmの浅皿状をしている。底面は平坦でしまりがある。壁は僅かに外傾する。埋土は、花崗岩の風化礫を多量に含むにぶい黄褐色砂質土の単層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

#### **J14土坑** (第26図、写真図版11)

遺構 調査区北東寄りの I 15区、 J 14、15区にまたがり位置する。 II 層削剥後地山面でにぶい黄褐色土のの広がりとして検出した。11、12号建物と重複するが、本遺構の方が新しい。平面形は開口部径135×126cm、底面径82×68cmの楕円形を呈し、断面形は深さ22cmの浅鉢状をしている。埋土は、褐色土、花崗岩の風化砂含むにぶい黄褐色、褐色砂質土で構成されている。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### F15土坑 (第26図、写真図版11)

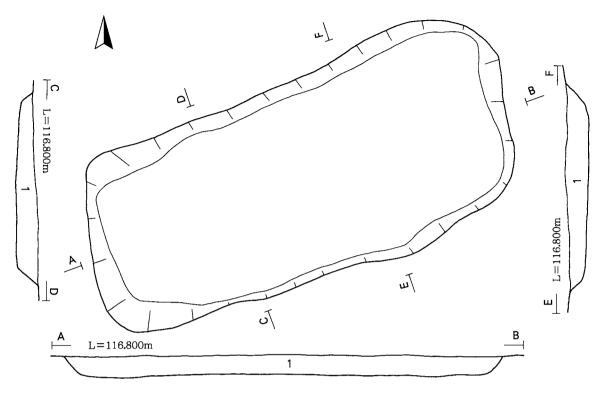
遺構 調査区中央やや北西寄りのF15区、G15区にまたがり位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄褐色 土の広がりとして検出した。8、9、10号建物と重複するが、本遺構の方が新しい。平面形は開口部径186 ×178cm、底面径124×62cmの楕円形を呈し、断面形は深さ54cmの浅鉢状をしている。埋土は、にぶい黄褐色 砂質土の単層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### J16土坑 (第27図、写真図版11)

遺構 調査区北東寄りのJ16区に位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄褐色土の広がりとして検出した。14号建物と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は開口部径143×128cm、底面径77×65cmの楕円形を呈し、断面形は深さ34cmの浅鉢状をしている。埋土は、にぶい黄褐色と黒褐色砂質土の2層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

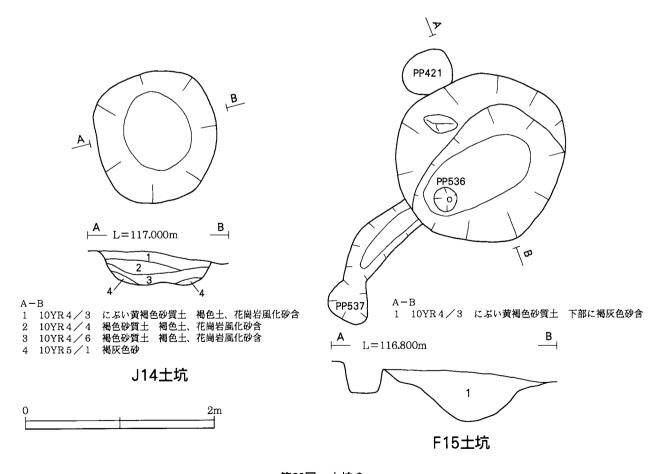
### G17土坑 (第27図、写真図版11)

遺構 調査区北東寄りのG17区に位置する。II層削剥後地山面で暗褐色土の広がりとして検出した。重複する遺構はない。平面形は開口部径150×134cm、底面径113×108cmの楕円形を呈し、断面形は深さ92cmのビーカー形をしている。図化できなかったが、底面には幅15~20cm、深さ2~4cmの浅い周溝が検出された。埋土は、暗褐色、明黄褐色砂質土の2層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられるが、形状は頸部が崩壊した縄文時代のフラスコ形土坑に類似している。

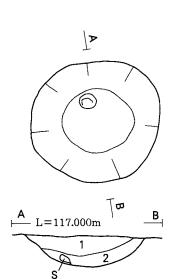


 A-B、C-D、E-F

 1 10YR5/3 にぶい黄褐色砂質土 花崗岩風化礫多量混在



第26図 土坑 3

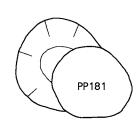


 A-B

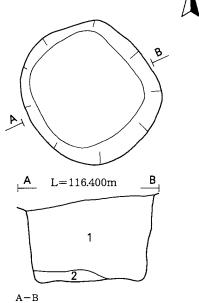
 1 10YR4/3
 にぶい黄褐色砂質土 褐色土、微量砂含

 2 10YR3/2
 黒褐色砂質土 褐色土、微量砂含

J16土坑

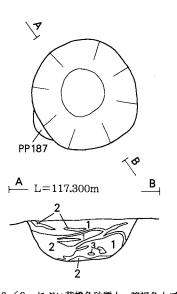


I21②土坑



A-B 1 10YR3/3 暗褐色砂質土 2 10YR7/6 明黄褐色砂質土

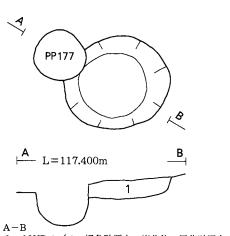
G17土坑



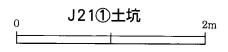
A-B 1 10YR6/3 にぶい黄橙色砂質土 暗褐色土ブロック、風化砂混在 2 10YR4/6 褐色土 黄褐色粘土、風化砂混在 3 10YR1.7/1 黒色土 締まりなし

I21①土坑

A-B



1 10YR 4 / 4 褐色砂質土 炭化物、風化砂混在



第27図 土坑 4

### I 21①土坑 (第27図、写真図版12)

遺構 調査区中央南寄りの I 21区に位置する。 II 層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。 15号建物と重複する。本遺構の方が古い。平面形は開口部径118×112cm、底面径52×47cmの楕円形を呈し、断面形は深さ44cmの浅鉢状をしている。埋土は、にぶい黄橙色、褐色、黒色土の互層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### I 21②土坑 (第27図、写真図版12)

遺構 調査区中央南寄りの I 21区に位置する。15号建物の柱穴181精査中に検出した。15号建物と重複するが、本遺構の方が古い。平面形は柱穴により撹乱を受けているが、開口部径96㎝の楕円形を呈すると見られ、断面形は図化できなかったが深さ30㎝の浅鉢状をしている。埋土は、にぶい黄橙色、黒色土の互層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### J21①土坑 (第27図、写真図版12)

遺構 調査区中央南寄りのJ21区に位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。15、16号建物と重複するが、本遺構の方が古い。平面形は開口部径113×95cm、底部径72×66cmの楕円形を呈する。断面形は深さ24cmの浅皿状をしている。埋土は、にぶい黄橙色土の単層である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

#### J21②土坑 (第28図、写真図版12)

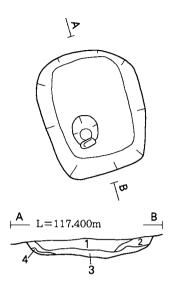
遺構 調査区中央南寄りのJ21区に位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。15、16号建物と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は開口部径132×108cm、底部径106×77cm の隅丸長方形を呈する。断面形は深さ22cmの浅皿状をしている。埋土は、にぶい黄褐色砂質土、にぶい黄橙色砂で構成される。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### I 22①土坑 (第28図)

遺構 調査区中央南寄りの I 22、 J 22区にまたがり位置する。II 層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。18、19、20号建物と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は開口部径80×76㎝、底部径20×20㎝の楕円形を呈する。断面形は図化できなかったが、深さ 5㎝の浅いすり鉢状をしている。埋土は、にぶい黄褐色砂質土である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### 122②土坑 (第28図)

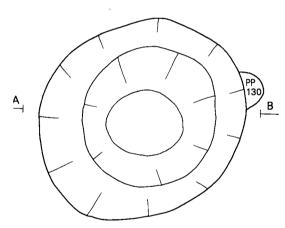
遺構 調査区中央南寄りの I 22区に位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。18、19、20号建物と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は開口部径76×73cm、底部径16×16cm の楕円形を呈する。断面形は図化できなかったが、深さ6cmの浅いすり鉢状をしている。埋土は、にぶい黄褐色砂質土である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

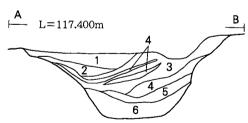


- A-B

- A-B
  1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土 風化砂混在
  2 10YR6/3 にぶい黄褐色砂質土 風化砂混在
  3 10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土 微量炭化物、褐色土混在
  4 10YR5/6 黄褐色砂 地山崩壊

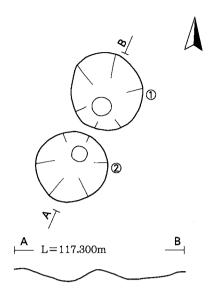
### J21②土坑



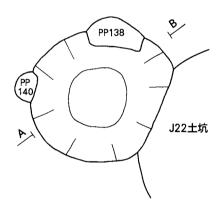


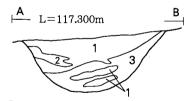
- A-B
  1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂 風化砂混在
  2 10YR5/6 黄褐色砂 褐色粘土、風化砂混在
  3 10YR5/3 にぶい黄褐色砂 風化砂混在
  4 10YR4/3 にぶい黄褐色砂 傲量風化砂混在
  5 10YR3/3 暗褐色砂 黒色土、褐色粘土混在
  6 10YR4/4 褐色砂質土 黒色土、褐色粘土、風化砂混在

## J22土坑



I22①·②土坑





- A-B
- | 1 10YR6/4 にぶい黄橙色砂質土 多量風化砂混在 2 10YR5/3 にぶい黄褐色砂質土 微量風化砂含 3 10YR5/4 にぶい黄橙色砂質土 風化砂混在

I22③土坑

2m

### 122③土坑 (第28図、写真図版13)

遺構 調査区中央南寄りの I 22、 J 22区にまたがり位置する。 II 層削剥後地山面でにぶい黄橙色土の広がりとして検出した。18、19、20号建物、 J 22土坑と重複する。重複する遺構の中で、本遺構が最も古い。平面形は開口部径158×142cm、底部径62×62cmの楕円形を呈する。断面形は深さ65cmの浅鉢状をしている。埋土は、にぶい黄橙色、にぶい黄褐色砂質土である。埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### J22土坑 (第28図、写真図版13)

遺構 調査区中央南寄りのJ22区に位置する。II層削剥後地山面でにぶい黄褐色土の広がりとして検出した。18、19、20、21号建物、I22③土坑と重複する。21号建物より古く、I22③土坑より新しい。その他の遺構との新旧関係は不明である。平面形は開口部径228×202cm、底部径82×70cmの楕円形を呈する。断面形は深さ88cmの浅鉢状をしている。南側には、幅50cm、長さ約3mの本土坑と同心円の一部と見られる弧状に延びる溝がある。埋土は、にぶい黄褐色と褐色砂の互層で、下部には黒色土や褐色粘土が含まれる。位置的に20号建物に付属する施設の可能性がある。いずれにしても埋土の様相から、周辺の建物とほぼ同時期の遺構と考えられる。

#### K23土坑 (第29図、写真図版13)

遺構 調査区南側のK23、L23区に位置する。II層削剥後地山面で検出した。重複関係はない。平面形は開口部径143×74cm、底部径126×50cmの長方形を呈する。断面形は深さ85cmの円筒形をしている。埋土は、わずかに黒色土を含む褐灰色砂質土である。埋土の様相や長軸方向がN—72°—Eで、L24土坑、L26土坑、23、24号建物、L25柱穴列と方向がほぼ一致するので、同時期あるいはそれらと前後する時期の遺構と考えられる。

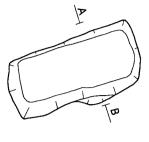
### L 24土坑 (第29図)

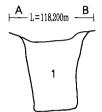
遺構 調査区南側のL24、25区にまたがり位置する。II層削剥後地山面で検出した。24号建物と重複するが、本遺構の方が新しい。平面形は開口部が径213×86cmの楕円形、底部は径120×64cmの長方形を呈する。断面形は深さ124cmの円筒形をしている。埋土は、わずかに黒色土を含む褐灰色砂質土である。土坑の東寄りには4段の階段と見られる地山削り出しの段差があり、底面におりた部分には深さ4cm、幅10cmの溝がある。また、西側は降りた部分の底面より12cm南側に広くなっている。貯蔵を目的にした土坑の可能性がある。埋土の様相や長軸方向がN—68°—Eで、K23土坑、L26土坑、23、24号建物、L25柱穴列と方向がほぼ一致するので、同時期あるいはそれらと前後する時期の遺構と考えられる。

### L26土坑 (第29図、写真図版13)

遺構 調査区南側のL26、M26区にまたがり位置する。II層削剥後地山面で検出した。重複関係はない。平面形は北側が崩壊しているが、開口部径144×52cm、底部径140×46cmの長方形を呈する。断面形は深さ92cmの円筒形をしている。埋土は、僅かな炭化物と多量の花崗岩風化砂を含むにぶい黄褐色砂質土である。埋土の様相や長軸方向がN—65°—Eで、L24土坑、L26土坑、23、24号建物、L25柱穴列と方向がほぼ一致するので、同時期あるいはそれらと前後する時期の遺構と考えられる。

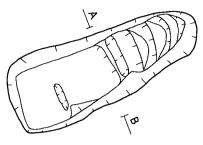


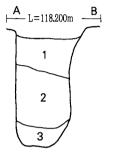




A-B 1 10YR6/1 褐灰色砂質土 黒色土含

# K23土坑

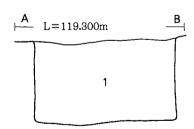




- A-B 1 10YR4/2 灰黄褐色砂 明応褐色花崗岩風化砂含 2 10YR5/4 にぶい黄褐色砂 明黄褐色花崗岩風化砂含 3 10YR4/4 褐色砂 明黄褐色花崗岩風化砂、微量炭化物含

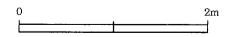
## L24土坑





A-B 1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土 多量花崗岩風化砂、微量炭化物含

# L26土坑



第29図 土坑 6

### (5) 配石

### H17配石 (第30図、写真図版14)

遺構 調査区中央のH17区に位置する。II層削剥後地山面で検出した。重複関係はない。2.5×2.2mの楕円形を呈する窪みの中に、径99×77cm、72×32cm、82×48cmの長方形の石をコの字状に配置している。最も大きい石の下から3つの石の中央部にかけて、径2.45×1.05cm、深さ28cmの楕円形の土坑を検出した。埋土は、多量の花崗岩風化砂を含む灰黄褐色砂質土である。遺構の性格は不明だが、埋土の様相から周辺の建物と同時期の遺構と考えられる。

### (6) 燒土遺構

### H12焼土 (第30図、写真図版14)

調査区中央西寄りのH12区で、平場整地層のII層削剥後地山面で検出した。39×13cmの範囲を持ち、最大3cmの厚さを持つ現地性の焼土である。焼成はあまり良くない。平場中央より一段低い西側のテラス状の平坦面で、II層の層厚は1m以上に及ぶが、その下位で検出された。平場整地以前の遺構と考えられる。

#### L25焼土 (第30図、写真図版14)

調査区南寄りのL25区で、平場整地層の6層削剥後地山面で検出した。67×50cmの範囲を持ち、最大5cmの厚さを持つ現地性の焼土で、焼成は良い。径58×48cm、深さ5cmの楕円形の浅皿状の窪みの底面に形成されている。22、23号建物と重複するが、新旧関係は不明である。II層より下位で検出されたので、平場整地以前の遺構の可能性がある。

### (7) 竪穴住居跡

### C11住居

### 遺構(第31図、写真図版15)

〈検出状況・重複関係〉調査区北西寄りC11、12区にまたがり位置し、黒色土、黒褐色土の広がりを精査中に炉を検出した。C11土坑と重複するが、本住居の方が新しい。炉の西側2m付近は崖になっている。

〈規模・平面形〉検出時の、黒色土の広がりは長径3.5m、短径3mの楕円形をしていたが、精査を進めると埋土は $5\sim6$  cmと薄く、壁は明瞭ではなかった。炉より北側で、半円ではあるが径2 m、比高 $10\sim20$  cm の段差検出された。壁の可能性があるが、炉の位置から考えると小さすぎるようである。

〈埋土〉黒褐色土、暗褐色土の2層で構成される。

〈壁・床面〉壁は確認できなかったが、北側で検出された段差は緩く外傾する。床面は締まりがある。

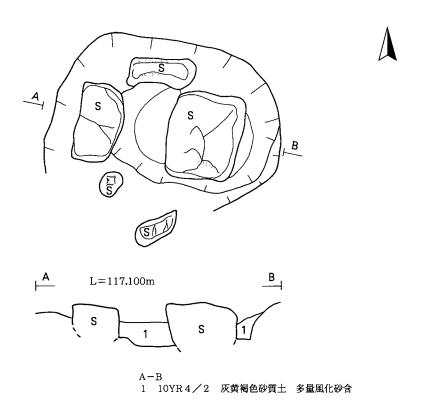
〈柱穴〉11本検出した。それぞれの柱穴の配置は不定で、主柱穴の配置は不明である。

〈炉〉 6 個の亜円礫で構築された石囲炉を検出した。規模は $55 \times 50 \,\mathrm{cm}$ で、石囲炉の東西には石が無く、東側には土器が口縁を炉の内部に向けて横位に埋設してある。焼土は炉の中央部と土器の外側で検出した。中央のものは $30 \times 27 \,\mathrm{cm}$ の広がりをもち、厚さは最大で $10 \,\mathrm{cm}$ である。

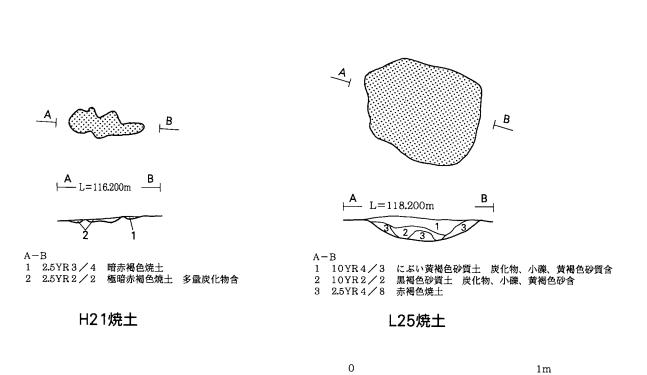
### 遺物 (第37図、写真図版38)

〈出土状況〉 炉及び炉の周辺、柱穴から土器 4 点、石器 2 点が出土している。

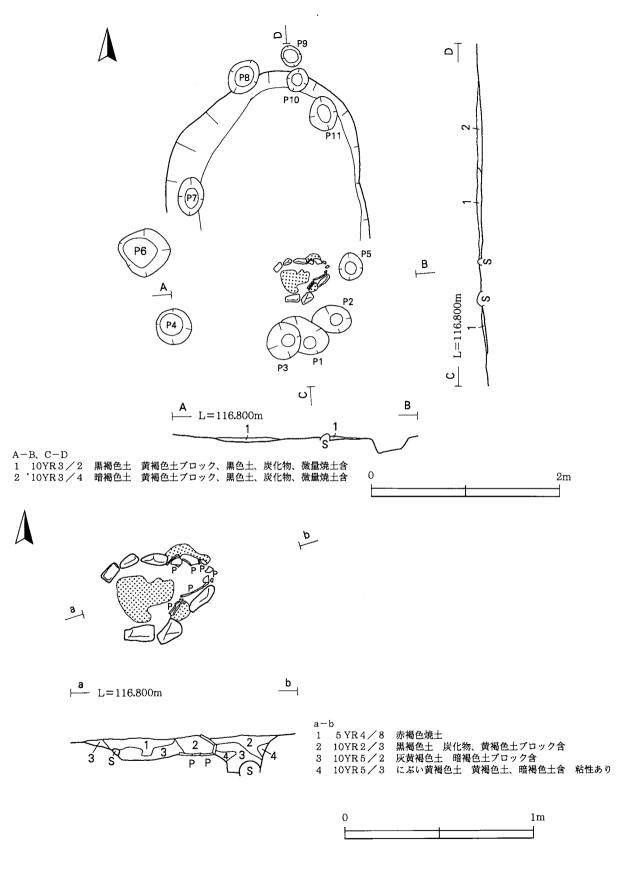
〈土器〉13、14、23、24はいずれも沈線による曲線文が主体の土器で、23には沈線の結節部に鰭状の隆帯が 貼付されている。



# H17配石



第30図 配石・焼土



第31図 竪穴住居跡

〈石器〉25、26はそれぞれ有茎、無茎の石鏃である。

時期 出土した土器の特徴から縄文時代中期末葉期の遺構の可能性が高い。

### (8) 柱穴状土坑 (第32~35図)

調査区内から540基の柱穴状土坑が検出された。その内260基余りは建物や柱穴列を構成する。残りの280基余りは、それらの建物等に付属するものか、あるいは別の建物を構成する可能性がある。また、表土を30cm以上削剥しているので、浅い柱穴は消滅していると思われる。

### 2 遺物

### (1) **陶磁器・古銭** (第36図、写真図版16)

調査区内からはいずれも細片であるが、11点の陶磁器片が出土している。最も古いものは明初期と見られる白磁の皿の破片である。その後16世紀の瀬戸・美濃産陶器、18世紀の大堀相馬陶器、19世紀〜近代の肥前磁器と続く。余りにも出土が少ないので、建物の存続年代を考えるのは困難である。

また、1点のみであるが永楽通宝が出土している。

### (2) 十器・石器 (第37·38図、写真図版17)

出土している土器は中コンテナ(45×35×20cm) 1 箱で、主体は縄文時代中期後葉の土器である。主に、調査区北西側崖近くの黒褐色土層から出土している。黒褐色土が分布しているのは北側、北西側の崖近くで、この地区からは、一棟だけだが縄文住居跡も検出されている。元々は遺跡が立地する平場は尾根上の地形で、その頂部を削り、整地して平場を形成している。黒褐色土は、整地前に尾根上の表土としてあったが、削剥されたために、崖近くにのみ残っていたものと考えられる。土器型式としては、大木7a式、8b式、10式がある。最も目立つのは、8b式であるが、伴う遺構は検出されていない。住居の炉に埋設されている土器は、大木10式の深鉢で口縁部はもともと欠損している。

石器は、石鏃3点、尖頭器1点、石匙1点、黒曜石の剥片2点、幅の広い溝状の擦痕がある石皿?1点の計 8点である。27の石鏃の破損部には、アスファルトと見られる付着物がある。

# V まとめ

今回の調査で、本遺跡は、縄文時代中期の集落、中世〜近世にわたる屋敷跡であったことがわかった。中世〜近世の建物については、数回の立て替えを行ったことが確認され、数代にわたってここで生活していたことが確認された。特に、最も大きな15号建物は、その形態から17世紀末〜18世紀前半に存続していたと見られ、重複する16号建物は、それ以前の17世紀後半のものと考えられる。また、遺跡内からは、15号建物より新しいと考えられる掘立柱建物、礎石建物等は見あたらなかったので、この屋敷はその後廃絶されたようである。このことは18世紀後半から近世遺跡での陶磁器の出土量が増える状況と、本遺跡の陶磁器の出土量が少ないことと合致する。また、付近に在住の宍戸昭氏から聞いた話であるが、「本家の先祖が江戸時代の中頃まで遺跡内に屋敷を構えていて、その後2度の移転を経て、現在地に居を構えることになった。」という内容とも一致する。15号、16号建物については、存続時期がある程度明らかになったが、遺物の時期からは、中世からこの地に生活の場があったと考えられるので、もっと古い建物の存在も考えなければならない。

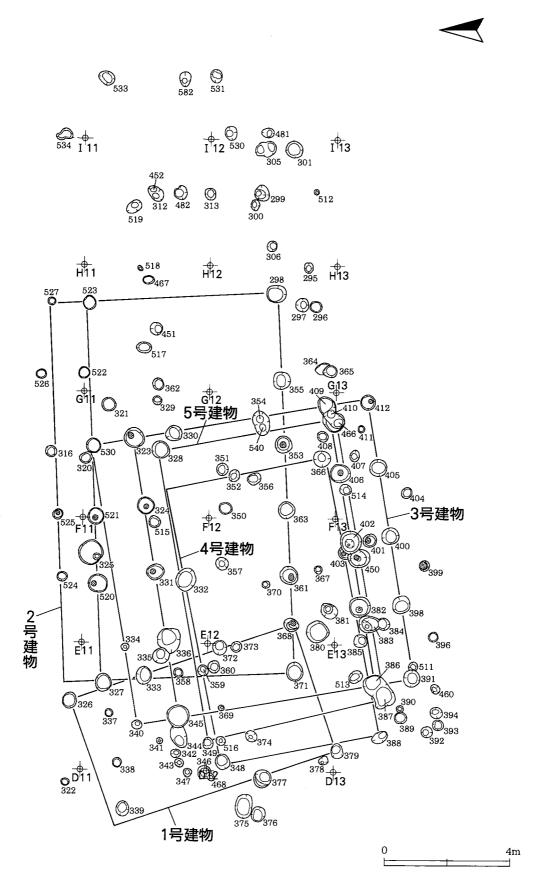
### 参考文献

羽柴直人(1996);東北地方北部における近世陶磁器の様相 ―1690~1780年代の消費状況の集成―. 岩文

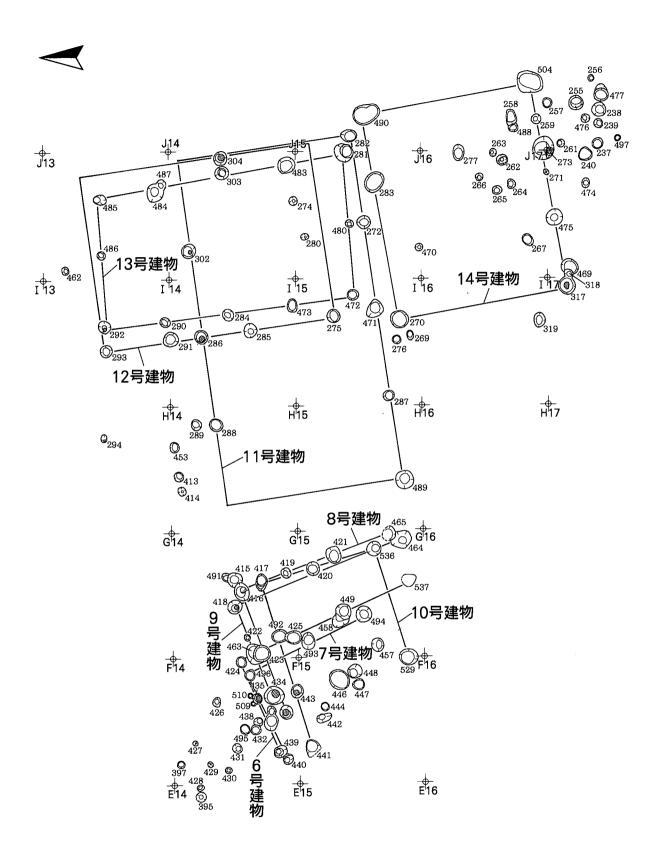
振埋文センター紀要ⅩⅣ.

" (1998) ;近世の「柳之御所跡」について. 岩文振埋文センター紀要 X VI.

別冊「太陽」b63 (1988) ; 「古伊万里」. 平凡社.

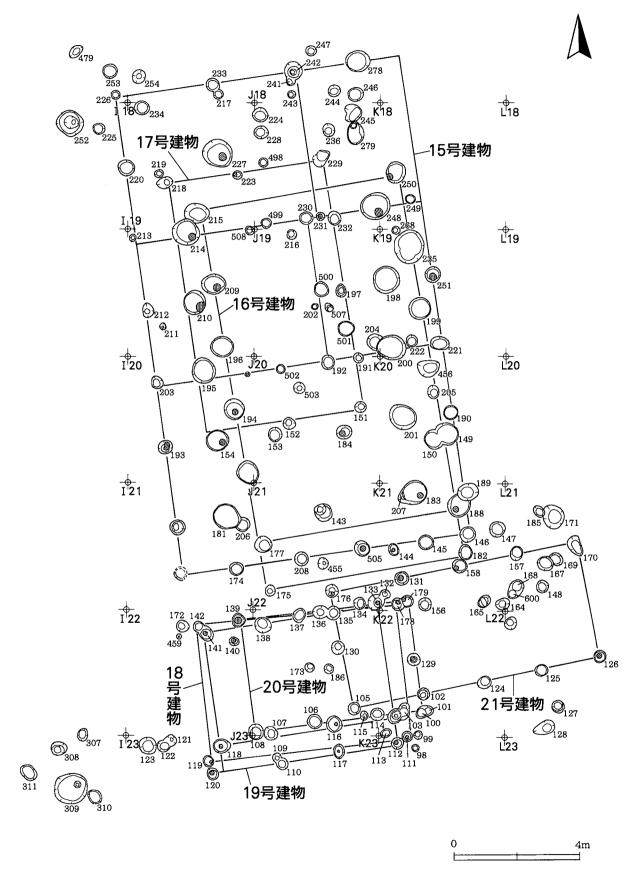


第32図 A区柱穴状土坑

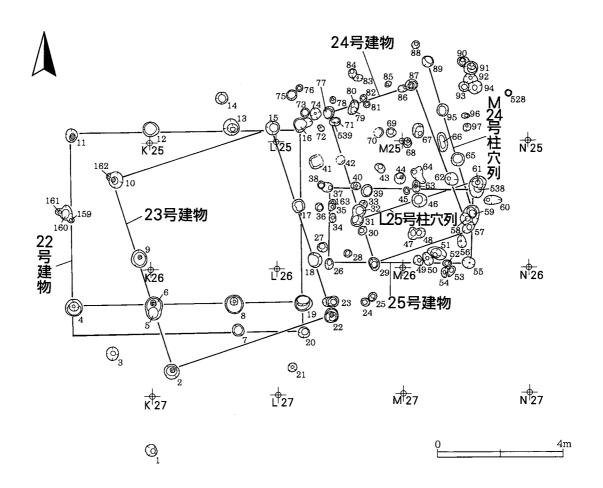




第33図 B区柱穴状土坑



第34図 C区柱穴状土坑



# 表 5 柱穴状土坑一覧表

番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備	考
1	37	36	21	117. 57			
2	47	47	36	117. 49			
3	43	37	19	117. 45			
4	54	54	36	117.06			
5	45	45	32	117. 44			
6	53		45	117. 31	14	22号建物	
7	40	38	13	117. 92		22号建物	
8	57	57	40	117. 58		22号建物	
9	54	48	23	117. 51	14	23号建物	
10	51	46	36	117. 29	16	23号建物	
11	44	36	54			22号建物	
12	50	50				22号建物	$\neg$
13	55	50	66	117. 4		22号建物	
14	39	38	18	117. 85		THE THE	
15	44	43	65	117. 44		23号建物	
16	46	44	57	117. 55		22号建物	
	40	38	59	117. 53		22号建物	
17	_						
17	40	38	59	117. 54		23号建物	
18		41	70			23号建物	
19	55	49				22号建物	
20	36			<del></del>		22号建物	
21	28	28				000=+41	
22	48	42	69	117. 49	16	23号建物	
23	52	34	43	117. 75			
24	28	26	35	117. 86			
25	30	24	55	117. 64			
26	33	25	10	118. 09		25号建物	
27	31	30	20	117. 96			
28	25	25	33	117. 82			
29	44	32	52	117. 61		24号建物	
29	44	32	52	117. 61		25号建物	
30	32	24	45	117. 76			
31	42	39	59	117. 51		L25柱穴列	1
32	40	40	40	117. 7		24号建物	
33	24						
34	29	20	33	117. 81			
35	23	22	43	117. 7			
36	28	25	52	117. 61			
37	33	31	28	117. 88		25号建物	
38	22	21	18	117. 96			
39	42	34	67	117. 41		25号建物	
40	31	23	41	117. 69			
41	42		19	117. 94			
42	30	<u> </u>	33	117. 77		24号建物	
43	35	27	29	117. 8		3. JÆ 10	
44	35	34	23	117. 83			
45	23	20	20	117. 86	10		
46	48	43	48	117. 56		L25柱穴列	id
47	40	40	11	117. 98	-	レムが住入り	ų
48	32	30	6				
<b></b>	34	_	20	117. 99		95 <del>ロ 2卦 //</del> -	
49 50	44	30		117. 9 117. 93		25号建物	
	44	39	10	117.93	L		

番号	長径	短径	深さ	库而煙息	柱痕跡径	備考
53	及任 44	21	9	118.04	TINKEN E	lim 75
54	32	20	5	118. 05		
55	40	36		110.00		25号建物
56	40	26	8	118		20-7,E13
57	10	29	51	117. 55		24号建物
58	52	20	37	117. 61		21.3 XE 1/3
59	50		65	117. 35		M24柱穴列
60	58	30	10	117. 85		14124417/00
61	48	00	53	117. 42		L25柱穴列
62	44	40	28	117. 7		24号建物
63	36	24	42	117. 61	10	25号建物
64	61	34	10	117. 9	10	20.7Æ
65	42	42	40	117. 57		M24柱穴列
66	62	29	10			1412 1 127 (74
67	46	34	44	117. 54		
68	34	26	42	117. 61		
69	30	28	23	117. 81		
70	31	20	7	117. 97		
71	27		12	117. 95		
72	22	18	9	118. 01	<u> </u>	
73	26	25	37	117, 74	 	
74	38	36	9	118		
75	38	36	27	117. 84		
76	25	22	22	117. 92		
77	42	34	38	117. 71		24号建物
78	23	18	16	117. 91		24 万 连 1/0
79	29	25	42	117. 65		
80	30	20	29	117. 79		
81	23	20	22	117. 86		
82	21	21	25	117. 84		
83	34	21	4	118. 03		
84	33	25	20	117. 85		
85	24	18	11	117. 93		
86	- 1	22	39	117. 63	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
87	38	36	60	117. 41		24号建物
88	26	25	30	117. 66		21.7Æ10
89	37	33	59	117. 36		M24柱穴列
90	36	31	30	117. 55		1120 112/ 194
91	44		46	117. 39		
92			13	117. 71	<u> </u>	
93	32	31	36	117. 51		
94	46		41	117. 43	-	
95	39	34		117. 35		M24柱穴列
96	25	14		117. 69		
97	27	23	29	117. 62		
98	24	23	9	117. 64		
99	28	27	22	117. 48	<del>                                     </del>	
100	38	<del> '</del>	62	117. 03		20号建物
101	34		59	117. 06		-V-J Æ-WJ
102	38	36	74	116. 88		21号建物
103	40	"	60		-	JÆ1/J
104	50	43	68	116. 93		19号建物
105	41	41	61	116. 88		21号建物
106	46	46	52	116. 84		20号建物
		1 .0			l	1/4

番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備	考
107	44	41	40	116. 88		19号建物	'n
108	50	47	27	116.96		20号建物	'n
109	28	26	13	117. 2		18号建物	'n
110	38	36	28	117. 09		19号建物	'n
111	34	32	42	117. 25	13	18号建物	'n
112	41	37	57	117. 1	14	19号建物	'n
113	37	27	11	117. 47			
114	43	40	62	116.85		20号建物	מל
115	30	24	19	117. 35			
116	52	48	54	116. 93	12	19号建物	'n
117	48	32	52	117. 01	9	18号建物	'n
117	48	32	52	117. 01	9	19号建物	'n
118	56	46	19	116. 93	14	19号建物	'n
119	36	34	11	116. 96	11	18号建物	'n
120	37	34	15	116. 97	14	19号建物	7
121	39		16	116.86			
122	40		8	116. 9			
123	57	55	12	116.84			
124	44	40	67	116.96		21号建物	
125	42	36	63	116. 93		21号建物	7
126	40	39	47	116. 95		21号建物	Ø .
127	40	37	29	117. 28			
128	70	43	20	117. 59			
129	40	40	38	117. 08	12	20号建物	7
130	42	40	15	116.47		21号建物	Ŋ
131	43	42	46	116. 92	20	21号建物	7
132	32	28	21	117. 17			
133	56	47	36	117. 01	16	19号建物	
134	40	36	52	116.83		20号建物	73
135	46	40	18	117. 11		18号建物	Ŋ
136	50	45	29	117		19号建物	7
137	47	38	33	116, 92		20号建物	
138	54	48	25	116. 22		18号建物	
138	54	48	25	116. 22		19号建物	
139	45	42	24	116. 86	23	20号建物	Ŋ
140	33	28	12	116. 28			
141		40	17	116. 85		19号建物	
142	36	32	15	116. 83		18号建物	
143	62	56	34			15号建物	<u> </u>
144	38	31	34	117. 03	12		
145	49	45	30	117. 08		15号建物	
146	52	50	41	116. 92		15号建物	"
147	48	48	48	116.85			
148	38	38	25	117. 13			
149	77	69	54	116.65		16号建物	<b>7</b>
150	63		72	116. 53			
151	38	35	43	116. 83		17号建物	
152	42	35	40	116. 78		17号建物	
153	44	44	17	116. 98		15号建物	
154	73	67	47	116. 53	20	15号建物	
155	47	47	28	116. 68		15号建物	7
156	41	40	18	117. 25			
157	44	39	42	116. 92		21号建物	
158	47	43	47	116. 95	16	21号建物	7
159	19		10	117. 31			

番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備	考
160	46		18	117. 23		22号建物	
161	20		10	117. 21			
162	20		11	117. 47			
163	23		13	118. 01			
164	46	36	26	117. 18	,		
165	44	32	17	117. 26			
166	40	37	19	117. 24			
167	53	43	61	116. 75			
168	44		49	116. 88			
169	46	38	47	116. 89			
170	67	45	45	116.88		21号建物	
171	75	66	27	116. 89			
172	43	38	12	116. 83			
173	31	28	17	117. 2			
174	46	44	18	116. 9		15号建物	
175	36	30	20	117		16号建物	
176	42	41	50	116. 78	18	21号建物	
177	56	52	44	116. 7		16号建物	
178	42		34	117. 05	16	18号建物	
179	38	36	25	117. 14	16	20号建物	
180	72	64	42	116. 67		16号建物	
181	86	77	53	116. 51		15号建物	
182	50	44	27	117. 05		16号建物	
183	83	75	80	116. 49	20	15号建物	
184	48	43	25	117. 01	21	15号建物	
185	42	30	28	116. 88			
186	31	30	24	117. 05		15 17 74.44	
187	40	7.4	17	116. 78	10	15号建物	
188	83	74	67	116. 64	19	16号建物	
189	68	51	33	116. 84		15号建物	
190 191	48 32	45 29	20 8	116. 9 117. 1		15号建物	
191	46	39	14	117. 05		17号建物 15号建物	
193	44	42	13	116. 77	24	15号建物	
193	67	64	37	116. 67	20	16号建物	
195	80	74	43	116. 55	20	15号建物	
196	74	64	40	116. 62		16号建物	
197	43	33	13	116. 99		17号建物	
198	86	84	50	116. 55		15号建物	
199	70	68	42	116. 67		16号建物	
200	92	78	53	116. 56		15号建物	
201	90	78	70	116. 55		15号建物	
202	20	20	5	117. 09		J AE 1/J	-
203	42	35	7	116. 76		15号建物	
204	41		31	116. 85		3 / 1/3	
205	44	36	25	116. 93	-		
206	47		21	116. 89			
207	38		29	116. 97			
208	43	42	26	116. 98		15号建物	
209	77	66	30	116. 75	24	16号建物	
210	78	70	45	116.5	33	15号建物	-
211	24	20	6	116. 83			
212	50	36	27	116. 59		15号建物	
213	22	20	4	116. 83		15号建物	
214	80	77	48	116. 49	24	15号建物	
						/ //3	

番号	長径	短径	変さ	<b>库面煙</b> 喜	柱痕跡径	備考
215	72	58	29	116.69	1工/区407-1王	16号建物
216	32	30	9	116. 95		10.37.27.7
217	30	30	7	116. 94		
218	52	36	22	116. 72		17号建物
219	28	25	5	116. 88		1177年初
220	52	51	14	116. 75		15号建物
221	62	40	23	116. 81		15号建物
222	38	36	24	116. 86		10万足物
223	30	27	5	116. 97	12	17号建物
224	52	45	17	116. 89	12	11万座初
225	37	35	5	116, 83		
226	31	26	6	116. 84		 15号建物
227	96	86	57	116. 45	27	10 7 建物
228	46	39	18	116. 45	21	
229	60	39	19	116. 86		17号建物
230	44	38	8	116. 96		15号建物
231	28	26	20	116. 90	14	··· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
232	43		13	116. 89	14	15号建物
	_	40				17号建物
233	45	42	18	116. 84 116. 77		15号建物
$\frac{234}{235}$	50 106	43 95	17			16 E-74+//m
235	38	36	45 24	116. 58 116. 77		16号建物
237	38	35		·		
238	45	46	48 18	116. 57		
239				116. 85		
_	30	28	20	116. 85		
240	44	44	21	116.84		
241	30	F.4	22	116, 82	_	15 17 74 14
242	60	54	32	116. 73		15号建物
243	23	23	14	116. 81		
244	38	35	20	116. 75		
	54	54	20	116. 76		
246	48	44	15	116. 78		
247	34	32	25	116. 76	0.0	15 E 75 W
248	94	83	59	116. 37	26	15号建物
249	32	27	8	116. 83		15号建物
250	67	61	25	116. 65	20	16号建物
251	54	48	25	116. 84	25	15号建物
252	80	78		<del></del>		
253	50	44	12	116. 78	<u> </u>	
254	45	41	14	116. 82		
255	48	47	27	116. 76		
256	22	20	32	116. 62		
257	34	30	8	116. 93		
258	59	33	12	116. 79		
259	32	30	14	116. 86		1 4 17 744 /17
260	76	68	31	116. 69		14号建物
261	26	24	9	116. 93		
262	36	35	43	116. 62		
263	24	24	39	116. 58		
264	31	28	15	116. 85		
265	33	27	21	116. 8		
266	26	24	12	116. 89		
267	44	32	6	116. 9		
268	27	24	8	116. 85		
269	33	20	5	116. 77		

番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備考
270	60	55	19	116. 64	13.72.07. 12.	14号建物
271	19	16	11	116. 9		.,
272	44	43	34	116. 56		11号建物
273	34	27	36	116. 64		
274	28	24	15	116, 74		
275	44	41	15	116. 69		12号建物
276	30	28	20	116. 64		
277	52	36	14	116.8		
278	78	66	27	116, 62		15号建物
279	72	50	15	116. 77		·
280	27	20	3	116. 84		
281	64	58	46	116. 43		13号建物
282	54	38	28	116. 57		11号建物
283	71	54	32	116. 62		14号建物
284	37	36	35	116.44		13号建物
285	46	42	10	116.7		12号建物
286	45	42	10	116. 68	20	11号建物
287	36	33	24	116. 53		11号建物
288	43	42	8	116. 69		11号建物
289	36	34	16	116. 58		
290	33	30	36	116. 4		13号建物
291	49	48	20	116. 56		12号建物
292	42	40	30	116. 45	14	13号建物
293	38	38	8	116. 65		12号建物
294	25	17		116. 58		
295	35	28	15	116. 54		
296	40	1.		116. 65		
297	44	36	13	116. 55		
298	62	58	20	116. 45		2号建物
299	48	48	29	116. 32		
300	35	27	14	116. 44		
301	56	50	15	116. 5		
302	46	45	14	116. 64	12	11号建物
303	45	42	25	116. 46		13号建物
304			15	116. 57	22	12号建物
305	68	48	20	116.3		
306	34		19	116. 46		
307	40			116. 34		
308	49	43	21	116. 16		
309	108	98	44	115. 94		
310	49	40	9	116.3		<u> </u>
311	56	41	19	116. 16		
	37	9.0	18	116.36		
313	41	36	9	116.46		
314	25	23	16	116. 18		η ⊑ z± +/m
316	34 55	34 52	13 16	116.3	23	2号建物 14号建物
318	30		8	116. 74 116. 82	43	14万建物
319	48	24 36	20	116. 82		
320	48	36	42			
321	40	44	16	116. 1 116. 35		
322	25	23	10	116. 43		
323	65	65	21	116. 36	19	3号建物
324	57	55	19	116. 38	18	3号建物
325	78	76	31	116. 34	10	0 7 XE 101
020	10	10	וטו	110.04		<u></u>

番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備	考
326	52	46	18	116. 34		1号建物	
327	56	50	10	116. 48		2号建物	
328	56	52	22	116. 36		5号建物	
329	30	29	8	116. 48			
330	53	48	28	116. 31		3号建物	
331	56	50	20	116. 4	16	3号建物	
332	70	62	21	116. 36		4号建物	
332	70	62	21	116. 36		5号建物	
333	58	47	40	116. 2		1号建物	
334	27	23	5	116. 53		3号建物	
335	53	50	34	116. 25			
336	80	74	37	116. 21		3号建物	
337	26	24	18	116. 42			
338	32	30	24	116. 38			
339	49	40	18	116. 43			
340	34	30	27	116. 34		3号建物	
341	21	20	11	116. 51	<del></del>		
342	31	27	12	116. 48			$\overline{}$
343	30	26	22	116. 39			
344	75	51	32	116. 28			
345	72	70	46	116. 18		3号建物	
346	42	41	18	116. 41			
347	27	26	18	116. 43			,
348	49	48	31	116. 26		4号建物	
349	37	32	12	116. 46		5号建物	
350	40	37	12	116. 48			
351	40	38	19	116. 44			
352	42	34	15	116. 48		4号建物	
353	53	53	31	116. 32	20	2号建物	
354	52		17	116.46		3号建物	
355	56	54	27	116. 37		2号建物	
356	42	34	15	116.46			
357	41	40	26	116.33			
358	30	28	19	116. 4			
359	34	33	16	116. 44		4号建物	
360	41	38	9	116. 49	.,		
361	58	57	30	116. 31	22	2号建物	
362	40	36	8	116. 47			
363	56	52	22	116.4		2号建物	
364		38	4	116. 63			
365	41	38	26	116.39			
366	53	48	12	116. 54		4号建物	
367	28	24	9	116. 51		1 11 11 11	
368	48	43	37	116. 22	16	1号建物	
369	19	19	15	116. 42		3号建物	
370	24	24	11	116. 45		0.0144	
371	60	52	14	116, 41		2号建物	
372	48	45	32	116. 24		1号建物	
373	37	34	25	116.31	-		
374	40	33	15	116. 33			
375	76	52	21	116.3			
376	58	44	22	116. 29		1 号建物	
377 378	60 30	56 26	27	116. 22 116. 47		1 7 建物	
379	46	38	21	116. 32		1 号建物	
918	40	<u> </u>	41	110. 32	L	1 つ建物	

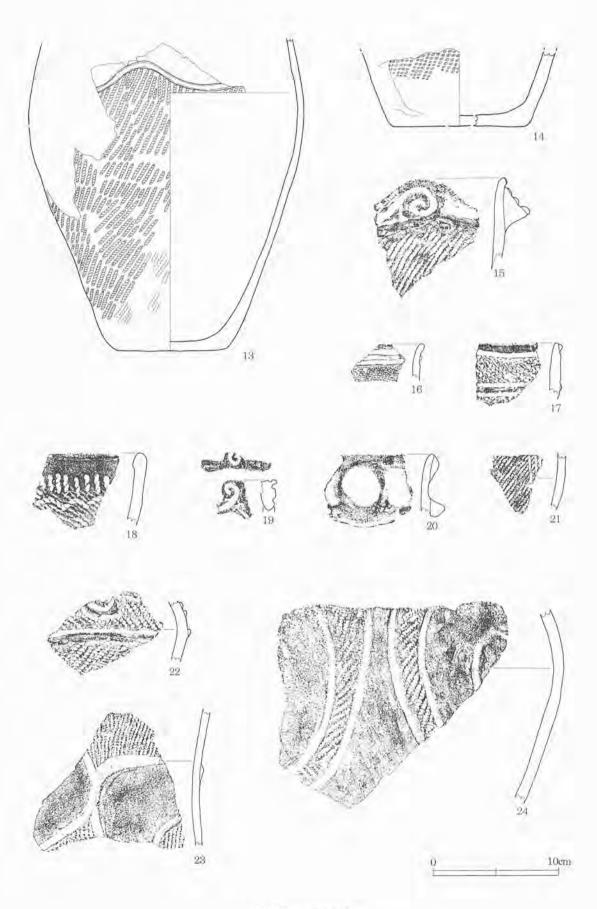
番号	長径	短径	深さ	底面標高	柱痕跡径	備	考
380	73	73	32	116. 26	14/24/11		
381	58	44	26	116. 33			
382	66	63	36	116. 24	-	3 号建物	 I
383	65	52	23	116. 39		5号建物	
384	42	35	22	116. 4			
385	42	40	29	116. 31		4号建物	1
386	68		31	116. 25		3号建物	
387	70	70	39	116. 19		5 号建物	
388	53	35	21	116. 28		4号建物	ı
389	40	36	19	116. 42			
390	22	22	7	116. 49			
391	54	54	15	116. 47		3号建物	1
392	37	35	16	116. 18			
393	35	33	7	116. 18			
394	40	38	25	116. 27			
395	33	32	27	116. 33			
396	32	30	12	116. 52			
397	26	25	16	116. 46		0 0 7 7 11	
398	60	52	21	116. 44	0.0	3号建物	<u> </u>
399	32	32	19	116. 45	26	0 1 24 44	
400	54	50	20	116. 43	1.0	3号建物	1
401	44	41	23	116.4	16	0 日 7 卦 4 4	
402 403	71 48	66	37 12	116. 26	15	3号建物 4号建物	
403	36	34	13	116. 47 116. 53	15	4万建物	l
404	55	51	20	116. 33		3号建物	
406	61	58	24	116. 43	18	3号建物	
407	36	30	17	116. 5	10	0.7,22%	'
408	36	32	19	116. 48			
409		54	46	116. 21		3号建物	1
410		42	48	116. 19		3 3 7 2 17	
411	24	22	4	116. 63			
412	48	46	11	116. 56	14	3 号建物	1
413	31	30	4	116. 68			
414	28	26	3	116. 67			
415	48	44	50	116. 15			
416	58	46	78	115. 86	20	8号建物	I
417	42	38	58	116.06		10号建物	1
418	46	42	30	116. 34	14	9号建物	1
419	36	30	34	116. 3		8号建物	
420	44	42	29	116. 35		9号建物	
420	44	42	29	116. 35		10号建物	
421	54	42	36	116. 24		8号建物	)
422	22	19	9	116. 54			
423	58	54	70	115. 93		8号建物	
424	35	31	53	116.09		6号建物	
425	54	41	51	116.09		6 号建物	]
426	30	26	18	116. 43			
427	15	14 18	23	116.36	-		
428	28 20	20	26	116. 55 116. 39			-27 14
430	23	22	11	116. 48		-	
430	32	30	40	116. 48			
431	34		30	116. 23			
433	30	30	43	116. 18			
700	1 00	L 30	10	110.10	<u> </u>	L	

来早	長径	<b>妇</b> 汉	変さ		柱痕跡径	備考
434	66	<u>短性</u>	28	116.34	25	9号建物
434	34	28	16	116. 45	19	6 号建物
436	54	45	26	116. 36	10	7号建物
437	04	25	25	116. 35		1 7 注 1/7
438	44	41	41	116. 33	22	8号建物
439	44	34	45	116. 11	22	6号建物
440		32	47	115. 92		7号建物
441	30	47	32	116. 08		10号建物
442	49	24	48	116. 08		10万建初
443	46	37	37	116. 23	18	10号建物
444	28	25	11	116. 46	10	10 7 建70
446	72	59	14	116. 42		
447	38	34	28	116. 42		
448	48	44	25	116. 28		
449	52	44	40	116. 1		6 号建物
450	70	54	18		16	5号建物
451	41	40	32	116. 43	10	3万建物
452	-11	32	17	116. 21		
453	37	28	7	116. 66		
454			21	117. 4		
455	38	34	14	116. 96		
456	-	50	18	116. 9		16号建物
457	42	38	38	116. 05		10万足物
458		51	25	116. 29		
459		15	2	116. 23		
460	-	26		116. 41		
461	100	32	33	116. 32		
462	27	- 02	18	116. 58		
463	68		19	116. 43		9号建物
464	70	48	22	116. 32		9号建物
465	48	10	70	115. 82		8号建物
466	-10	60	49	116. 16		5号建物
467	37	30	23	116. 3		0 7 建物
468	<u> </u>	21	18	116. 39		
469	58	46	12	116. 84		
470	24	24	14	116. 8		
471	60	48	33	116. 53		11号建物
472	36	36	46	116. 4		13号建物
473	43	30	37	116. 46		13号建物
474	32	25	14	116. 84	-	40.7 XE-1/7
475	52	51	35	116. 65		14号建物
476	28	28	20	116. 84		J AL 1/J
477	58	47	22	116. 77		
479	51	31	11	116. 66		<del></del>
480	25	$\frac{-31}{24}$	16	116. 75		13号建物
481	40	30	26	116. 24		- V : J XE 1/J
482	42	42	12	116. 32		·
483	54	48	35	116. 44	-	13号建物
484	59	54	9	116. 45		13号建物
485	43	33	16	116. 26		13号建物
486	28	25	17	116. 52		13号建物
487	35		16	116. 41		3 / 1/3
488	32	30	7	116. 86		·
489	58	58	16	116. 55		11号建物
490	88	64	27	116. 52		14号建物
		ت-				

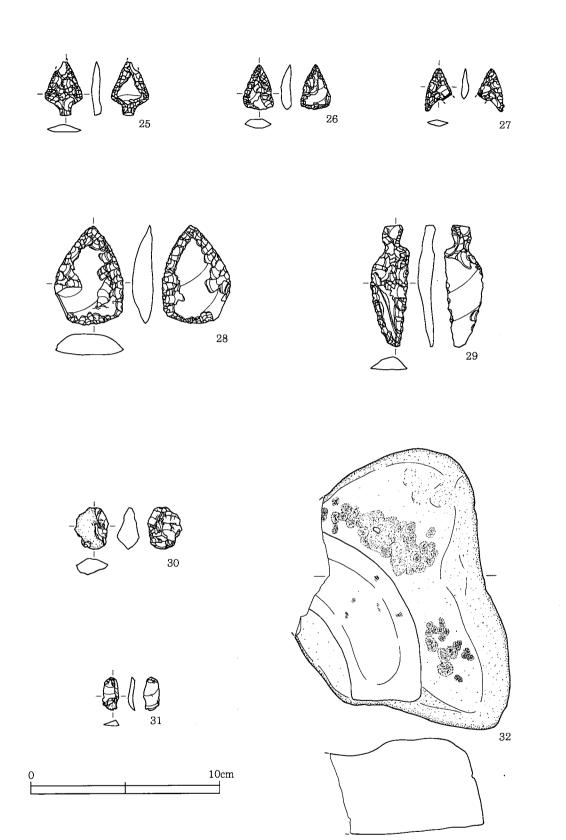
悉号	長径	短径	変さ	序而標高	柱痕跡径	備	考
491	八正	28	4	116. 62	上水加工	JAT4	
492	51	41	50	116. 13		10号建物	
493	55	40	20	116. 35		7号建物	
494	50	50	29	116. 19		7号建物	
495	32	30	24	116. 36		1 17 (2)	
496	38	31	20	116. 39		7号建物	
497	22	20	8	116. 99		1 7 72 707	
498	30	30	5	117. 01			
499	33	32	5	117. 01			<del></del>
500	49	45	18	116. 94		15号物	
501	53	46	8	117. 11		10.1/2	
502	28	28	7	117. 05		15号建物	
503	40	36	12	117. 01		10.7 (2.17)	
504	88	66	30	116. 62		14号建物	
505	50	45	29	117. 09	20	15号建物	
506	17	16	2	117. 02	20	10 7 建物	
507	29	25	14		-		
508	30	28	11	116. 9		15号建物	-
509	16	13	7	116. 54		10万姓物	
510	16	16	3	116. 58			
511	32	30	14	116. 46			
512	18	16	3	116. 40	ļ		
513	46	34	19	116. 33			
514	36	33	24	116. 33		5 号建物	<del></del>
515	38	38	19	116. 41		3万建物	
516	31	30	18	116. 39			
517	49	36	7	<del></del>			
518		15	7	116. 34			
519	18 53	34		116. 36			
520	62	56	26 4	116. 16	10	0 日 7井 164	
521	55	49	$\frac{4}{7}$	116. 42	18	2号建物	
522	36	36	5	116.45	18	2号建物	
523	47		4	116.36		2号建物	
524	32	40 29	5	116. 32 116. 38		2号建物	
	32	32			1.4	2号建物	
525	33	27	4	116. 46	14	2号建物	
526 527	26		$\frac{4}{2}$	116. 27		2号建物	
528	20	22		116. 28		2号建物	
				117. 62		10日7中ル	
529	63 48	52	29	116.06		10号建物	
530	48	46	10	116. 48		2号建物	
530	48	46 37	10	116. 48		3号建物	
$\overline{}$	$\overline{}$		43	116. 17			
532	49	38	22	116. 39			
533	55	44	15	116. 28			<del></del>
534	52	30	4	116. 35			
535	40		46	116. 9		10 🗆 7 11	_
536	50		48	116.05		10号建物	
537	44	44	14	116. 32		6号建物	
538	44		43	117. 52		25号建物	
539	26		10	117. 96			
540	45		16	116. 47			



第36図 出土陶磁器・古銭



第37図 出土土器 —69—



第38図 出土石器

10cm

# 表 6 要害館跡出土遺物

#### 出土陶磁器一覧表

番号	出土地点	種別	器種	釉薬・染付	製作地	製作年代	備考	仮番号
1	F15区粗堀	陶器	Ш	灰釉	瀬戸・美濃	16 C	12	
2	PP41	陶器	鉢	自然釉			18 C	
3	北側斜面	磁器	碗	染付	肥前	近代	口紅有り	19
4	D9区粗堀	陶器	碗	灰釉	大堀相馬	18 C	16	
5	北側崖下トレンチ	磁器	Ш	染付	明.	16 C	22	
6	J26区粗堀	陶器	碗	外鉄釉内灰釉	大堀相馬	18 C	13	
7	栗林粗堀	磁器	碗	染付	肥前	19C ?	11	
8	栗林粗堀	磁器	小碗	染付	肥前			21
9	L28区粗堀	磁器	碗	青磁	中国	16 C	?	17
10	東西トレンチ南側	磁器	III.	白磁	明初期	15 C	14	
11	D 9 区粗堀	磁器	碗	染付	肥前	近代		15

#### 出土古銭

番号	出土地点	材質	特徵	径 (mm)	重量(g)	仮番号
12	南北トレンチ補助杭P2近く	銅	永楽通宝(鋳銭1408年)	24. 5	2. 5	30

### 出土土器一覧表

番号	出土地点	器種	器高	底 径	部 位	原体	紋様等の特徴	型式	仮番号
13	C11住炉埋設土器	深鉢	(24. 7) cm	8.8cm	胴~底部	RL縦	沈線による曲線文	大木10式	31
14	C11住炉埋設土器	深鉢	(5.8) cm	10.6cm	底部	RLR縦		大木10式?	32
15	C13区粗堀	深鉢			口縁	RL縦	波状口縁突起部に渦巻文	大木8B式	1
16	D9土坑埋土	深鉢			口縁	LR縦	頸部に隆沈線	大木8B式	8
17	F8土坑埋土	深鉢			口縁	LR縦	頸部に隆沈線口唇肥厚	大木8B式	9
18	H5区粗堀	深鉢			口縁	LR縦	原体圧痕	大木7a式	5
19	C11区暗褐色土	小型			口縁		波状口縁突起部に渦巻文	大木8B式	10
20	C12区粗堀	深鉢			口縁		隆带円文	大木8B式	6
21	C12区暗褐色土	深鉢			胴	RL縦	平行沈線文	大木 8 B式	7
22	C13区粗堀	深鉢			胴	RL横縦	隆带渦巻文	大木8B式	4
23	C11住炉埋設土器	深鉢			胴	RL縦	沈線による曲線文	大木10式	2
24	C11住P1埋土	深鉢			胴	RL縦	沈線による曲線文	大木10式	1

#### 出土石器一覧表

番号	出土地点	器種	長さ㎝	幅cm	厚さcm	重量g	石 質	産 地	仮番号
25	C11住床面	石鏃	2. 2	1. 4	0. 35	0. 65	凝灰岩	北上山地	23
26	C11住P7	石鏃	2. 35	1. 55	0. 45	1.8	赤色頁岩	北上山地	24
27	PP423	石鏃	2. 8	1. 95	0.4	2. 05	頁岩	奥羽山脈?	25
28	C12区粗堀	尖頭器	5. 15	3. 65	1. 1	22. 4	頁岩	奥羽山脈?	26
29	栗林粗堀	石匙	6. 4	2	0. 7	7. 93	頁岩	奥羽山脈?	27
30	D9区	剥片	2. 2	1. 8	1. 1	3. 2	黒曜石	花泉産	28
31	D9土坑	剥片	1. 7	0.8	0.3	0. 4	黒曜石	花泉産	29
32	I24区粗堀	台石?	29. 95	22. 7	9. 7	11000	ひん岩	北上山地	33

# 写 真 図 版



調査前(北から)



調査後(北から) 写真図版 1 空中写真 --75--



上から



下から 写真図版 2 北側崖斜面トレンチ --76---



PP227 断面



PP250 断面



PP309-PP314 断面



PP188 平面



遺跡現況



調査開始

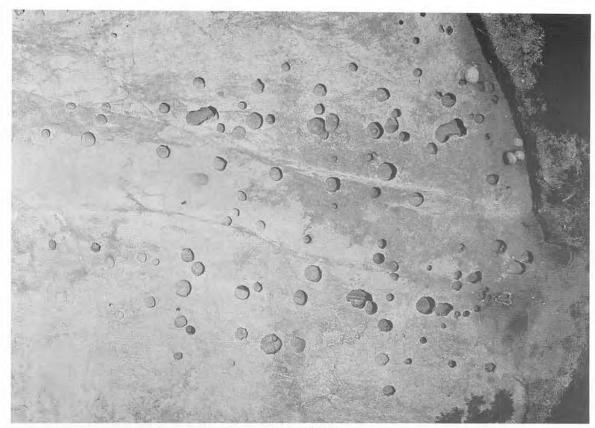


南北トレンチ 南端

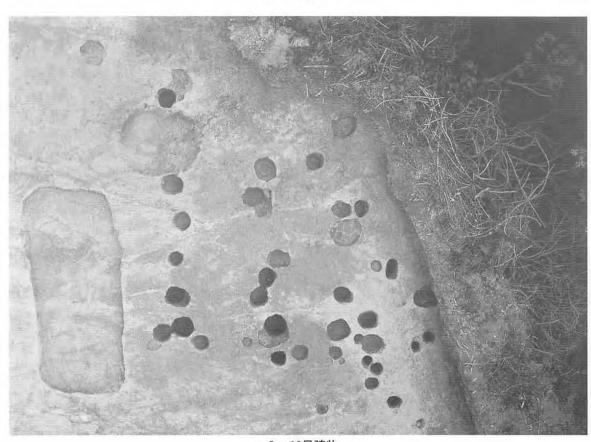


東西トレンチ① 西側

写真図版 3 柱痕跡・遺跡現況・トレンチ



1~5号建物



6~10号建物 写真図版 4 建物 1 --78--



11~13号建物



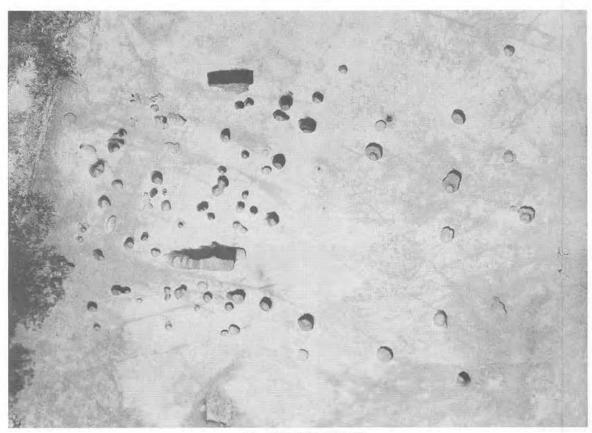
14号建物 写真図版 5 建物 2 —79—



15~17号建物 写真図版 6 建物 3 --80--



18~21号建物



22〜25号建物・柱穴列 写真図版7 建物4 ―81―



N29墓壙平面



N29墓壙断面



E8土坑 平面



E8土坑 断面



F8土坑 平面



調査風景



D9土坑 平面

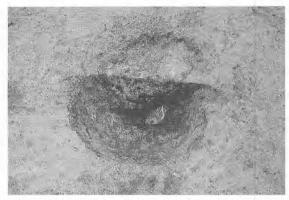


写真図版8 墓壙・土坑1

D9土坑 断面



F9①土坑 平面



F9①土坑 断面



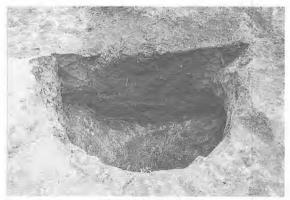
F9②土坑 平面



F9②土坑 断面



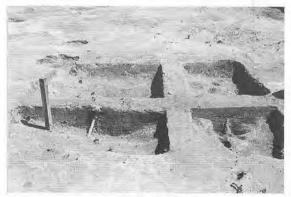
C11土坑 平面



C11土坑 断面

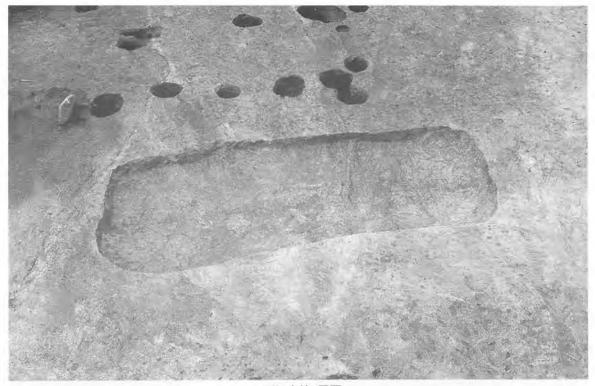


H12土坑 平面



H12土坑 断面

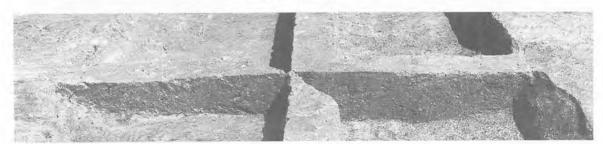
写真図版 9 土坑 2 -83-



F14土坑 平面



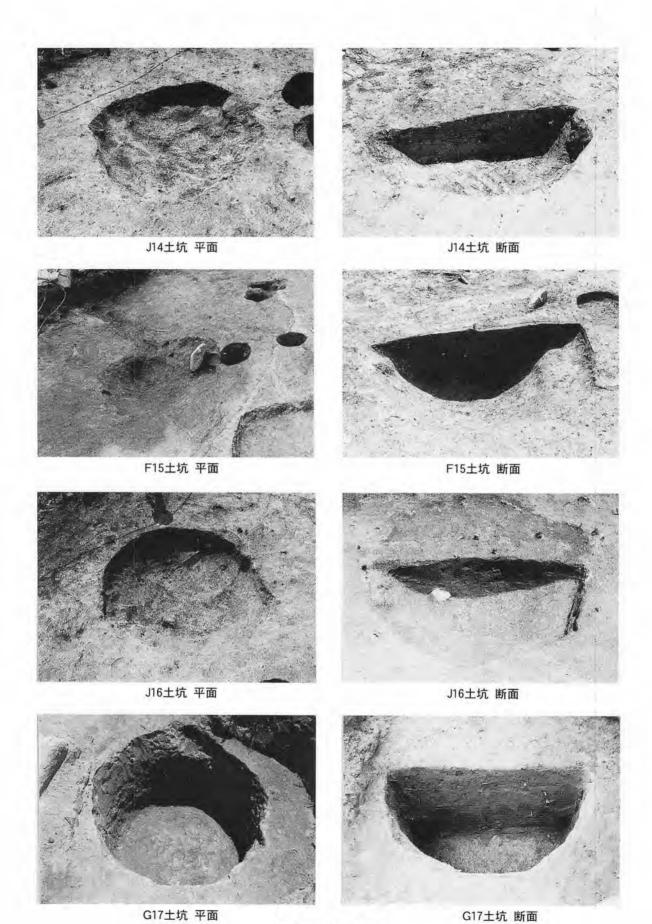
F14土坑 断面 (西から)



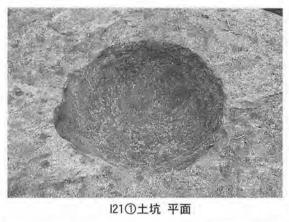
F14土坑 断面① (南から)



F14土坑 断面②(南から) 写真図版10 土坑3 -84-



写真図版11 土坑 4 --85--





121①土坑 断面



121②土坑 平面



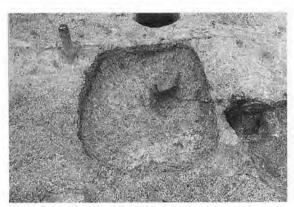
調査風景



J21①土坑 平面



J21②土坑 断面



J21②土坑 平面



J21②土坑 断面

写真図版12 土坑 5 —86—



122③土坑 平面



122③土坑 断面



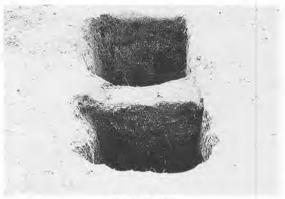
J22土坑 平面



J22土坑 断面



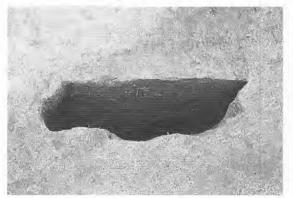
K23土坑 平面



K23土坑 断面

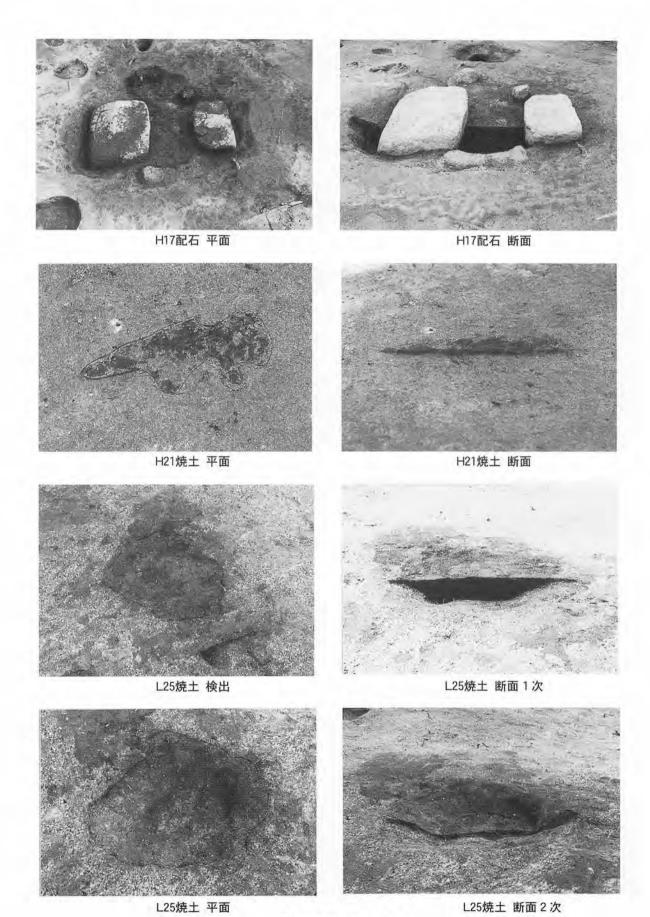


L26土坑 平面



L26土坑 断面

写真図版13 土坑 6 --87--



写真図版14 配石・焼土 --88--



全景 (東から)



埋土 土層 (東から)



埋土 土層 (南から)



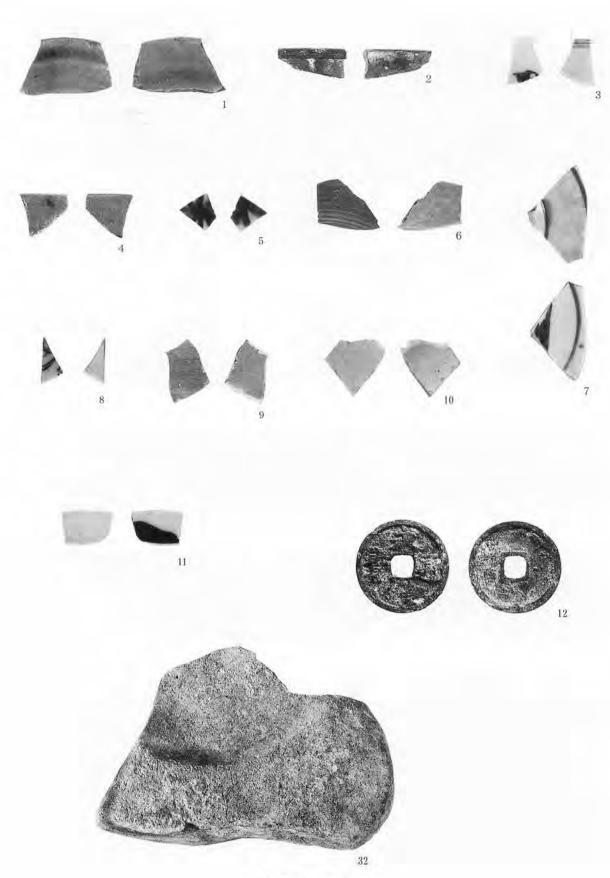
炉 平面



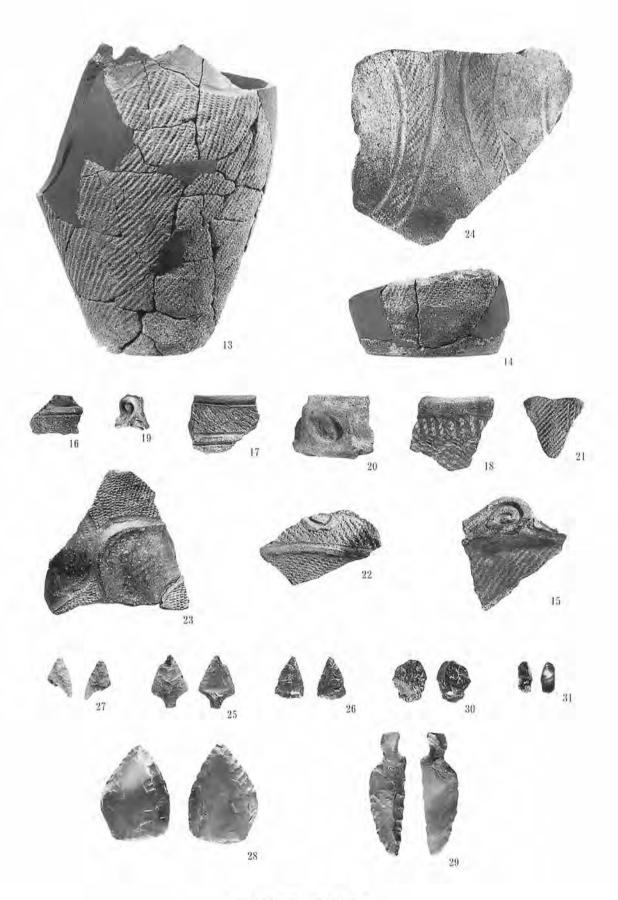
炉 断面 (南から)

写真図版15 C11住居

-89-



写真図版16 出土遺物 1 --90---



写真図版17 出土遺物 2 --91---

#### 平成13年度㈱岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿

所 長	伊藤民也	副所長	高橋正儀
[管理課]			
管理課長	韮 沢 正 吾	嘱 託	佐々木 光 重
管理課長補佐	山崎善光	"	高橋照雄
管理課長補佐	山岸直美	"	加藤美代子
主  查	立 花 多加志	"	湯沢邦子
[調査第一課]		[調査第二課]	
調査第一課長	佐々木 勝	調査第二課長	髙 橋 與右衛門
調査第一課長補佐	佐々木 清 文	調査第二課長補佐	中 川 重 紀
調査第一課長補佐	高橋 義介		
文化財専門員	小山内 透	文化財専門員	金 子 佐知子
文化財調査員	中 田 迪	文化財調査員	阿 部 眞 澄
<i>II</i>	飯 森 秀 文	<i>II</i>	飯 坂 一 重
"	赤 石 登	<i>II</i>	阿 部 徹
"	吉 田 充	<i>II</i>	濱田 宏
"	亀 大二郎	<i>II</i>	安 藤 由起夫
"	小 原 眞 一	"	高 木 晃
<i>II</i>	佐々木 信 一	n,	佐 藤 淳 一
"	小笠原 健一郎	"	星 雅之
"	金 野 進	"	菅 原 靖 男
"	小 松 則 也	<b>"</b>	半 澤 武 彦
"	岩渕計	<b>"</b>	杉 沢 昭太郎
"	鳥居達人	"	溜 浩二郎
"	金 子 昭 彦	<i>y</i>	中村直美
"	羽 柴 直 人	"	西澤 正晴
<i>II</i>	千 葉 正 彦	"	八木勝枝
<i>II</i>	長 村 克 稔	"	(阿部勝則)
<i>II</i>	星 幸文		
n,	佐藤あき子		
"	菊 池 貴 広		
n,	村 上 拓		
n,	本 多 準一郎		
n,	村木敬		
<i>"</i>	北村忠昭		
<i>"</i>	高瀬克範		
"	丸山浩治		
"	島原弘征		
加加	中村絵美	<b>地四八洲木</b> 具	十 111 体
期限付調査員	小林弘卓	期限付調査員	古川徹
"	江藤 敦	"	北田勲
"	菊 池 賢 井 上 信 介	n n	吉田里和
"		" "	原 美津子 齋 藤 麻紀子
<i>"</i>	川 又 晋 吉 田 真由美	" "	新 藤 麻紅丁 駒木野 智 寛
"	5 田 兵田美 坂 部 恵 造	"	例小灯 伯 見
"	水 市 思 垣 木 村 ひかり		
//	<b>小 型 いなり</b>		

#### 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第386集

## 要害館跡発掘調査報告書

ふるさと農道緊急整備事業要害地区関連発掘調査

印刷 平成13年9月20日 発行 平成13年9月28日

発行 財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185 電話 (019)638-9001・9002 FAX (019)638-8563

印刷 株式会社 白 ゆ り

〒020-0122 盛岡市みたけ六丁目1番50号

電話 (019)643-6060 FAX (019)643-6065

시간 시간 중에서 기가 되었다. 기가 소설하는 기가 기가 있다.			- 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	
				1 5.3 1 5.3
21				
	<b>经</b> 经 (4.18)			
[2] 이 보기를 받는 12] 이 12] 12 : 11 : 12 : 12 : 12 : 12 : 12 :		1995 - 1995 - 1995 - 1995 1985 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986 - 1986		
en e				